京城日報

十四日夕刊

定價 一部金二錢 一ヶ月金五十錢 ……
廣告料 ……
發行兼編輯人 ……
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話(編輯)……

汽車時間表(七月十日改正)

[illegible]

○墺帝獨相の協議 形勢頗る重大なり

維納來電に曰く墺國皇帝フランツヨセフ陛下は獨逸宰相ベートマン、ホルウエツヒ外相ヤゴウ二氏と何事か協議する所あり形勢頗る重大なるものあり(倫敦電報)

○英佛兩國相將の協議 協同軍事行動の發展意見調和す

巴里來電に曰く英國陸相ロイド、ジョージ氏モウリス將軍及びバックレー大佐は佛國首相ブリアン氏及び陸相兵站大臣ジョッフル將軍カステルノー將軍等と協議したり右の結果英佛兩軍の協同軍事行動の發展に關し全然意見調和し居る事明白となれりと聲明されたり(倫敦電報)

○露軍ガリシヤの敵を壓迫す

露軍は敵が其の準備せる陣地を捨てドニエステール河支流を超へて逃走せるを追撃しガリシャの敵を壓迫したりスタエラウの戰鬪に於て露軍の損害なし(紐育電報)

○冬季陣地全部を奪取す

露都來電露國公報に曰くタルノボール及びブクサクズ前面に於ける敵軍冬季陣地全部は露軍の手に歸したり(紐育電報)

○伊軍のオパキアシラ占領

伊太利公報に曰く伊太利軍はオパキアシラを占領せり(倫敦電報)

○羅國火藥工場爆發す

羅馬尼ダデスチに於ける火藥製造工場爆發し死傷者二百四十五名を出せり(紐育電報)

○段總理の副總統希望

段祺瑞は國務總理と陸軍總長とを自己の推薦によるを條件として副總統たらむ事を希望せり(北京電報)

○北海道の政戰

北海道な合議員選擧の結果當選者政友非政友相半し勢力互角となれりと(東京電報)

○訪露議員出發

露國訪問上院議員團一行十四日夜東京を出發す(東京電報)

○金澤高工運動

金澤高等工業學校新設に關し政府與黨は必要の運動を開始し初年度經費は之を自辨するに決せり(東京電報)

◎總監臨場訓示

山縣政務總監は中村技師遠藤秘書官秋山視學官を隨へ既報の如く十四日午前八時三十分南大門驛發水原に向け行し水原農林學校に於て八月一日より開會中の實業學校講習會に臨み左の如き一場の訓示を與へ後模範場を視察し午後七時二十分南大門驛着歸任せり

▲政務總監訓示

本日實業學校教員講習會に臨み一言諸子に告ぐる事を得るは本官の滿足する所なり

其れ教育は其の種類の如何を問はず豐富なる學術と妥當なる識見を以て之れが遂行を期すべきは論なしと雖も朝鮮現下の情勢に照らし特に努力を要するは農業教育なり之れ本府が鋭意農業教育の施設改善を奬勵し每年夏期講習會を開催し殊に長期間の講習を行ふ所以なりとす諸子責任の重大なる事は敢て喋々を要せざるべし

農業教育の本旨は云ふ迄もなく生徒をして農業の趣味を解せしめ徒に空論の弊を避け著實勤勉の風を奬め卒業後直ちに其の生活に必要なる智識技能を授け進んで產業の開發に資せしむるにあるを以て之れに從事する者は須らく智を弘め技を磨き土地の狀況に適應せる教育を施さゞる可からず講習會に於て特に學科と實習とを併せ課する所以のもの又之れに外ならざるなり

農業教育の必要は獨り農業學校に限らず他の學校に於ても生徒をして實習しく指作業を悦び勤勞を貴ぶの習慣を助長し質實勤勉の國民たらしめざる可からず普通學校高等普通學校は勿論小學校に於ても農業科の設置を奬勵し來りつゝあるは之れが爲めなり今回の講習會に特に普通學校小學校等の教員を加へたるは依つて以て農業科の實績を擧げしめんとするの旨趣なりとす

講習員は克く如上の旨趣を體し胝勉以て講習に從事し各自修得したる所を實地に應用して充分の效果を擧げ以て本府の方針に副はん事を期す可き時方に炎暑の候講師各位が一方本務の多忙なるに拘らず本講習の事に當らるゝの勞を謝す講習員諸子亦能く攝生に注意し自愛以て講習を終了せられん事を望む

◎市場統一計畫 京城府の模範的設備

京城府内に於ける市場の衞生的設備が充分に行はれず都市經營上多大の缺陷を生じ居れりとは當局に於ても夙に認むる所なるが現在府内の市場は從來府に於て經營認可を與へ未だ其期限中にあるもの長きは今後四十年或は八九年短きも來年六月迄のものありて今日容易に府の直營事業として統一したる市場を設くること困難なるものあり併しながら目下の各市場經營者は單に其市場の所有權を擁し居るに止り相當の料金を徵して物品販賣業者に市場の使用料を支拂はせ居るに過ぎざれば大資本を投じて市場施設の改良を望むこと頗る難きものあり京城府も此點に就ては種々研究中なるが右の內魚市場、蔬菜市場等は何れも來年六月迄に認可の期限滿了するに付府は此際相當の費用を投じて模範的の市場を新設し前記期限滿了の南市場を始め青物市場食料品市場等をも一箇所に收容せんとし目下內々準備中なり尤も期限の如何に拘らず直接の經營は各市場從來の所有者に爲さしむるものにして追て適當の場合に府の直營事業とするもの〻如し

◎夏蠶繭と秋蠶

本年の春蠶收繭高は總量約六萬四千五百石の見込にして之を前年の五萬二千石に比すれば一萬三千五百石の增加なるは既記の如くなるが、夏蠶は前年に於ては三千二百石の收繭を見たるも本年は春蠶增加に依る桑の關係より寧ろ減少の氣味なる可しと豫想さる、然れども昨今京畿道の產繭又は同地共同販賣所に搬出さるゝ夏繭を見るに其の品質極めて優良にして春繭以上のもの尠からず從つて價格稀有の上騰を告げ最近一石に就き四十圓乃至四十五六圓を以て取引さるゝの狀況に在り、尙ほ秋蠶の掃立枚數は昨年に於ては二萬七千枚なりしが本年は未だ不明なるも其の製造種四萬枚以上に達せるより考ふれば之れまた春蠶と同樣前年に比し著しき增加なる可く其の收繭高も必ずや尠少ならざる可しと觀測さる

◎鮮銀定時總會

十五日午前九時より東京銀行集會所に於て朝鮮銀行定時總會を開き大正五年度上半期決算案を附議し事業狀況の報告をなすべく銀行よりは勝田總裁木村理事山田庶務局長大原秘役等列席すべしと

◎舊盆と金融界

舊盆前に於ける朝鮮金融界の概況を聞くに朝鮮人は概して舊盆を決濟期とせず又在住內地人も全部半期決濟を舊盆前に行ふ習慣なき爲め內地と異なり朝鮮の舊盆決濟資金需要は必らずしも多からず加ふるに金融界の大勢は夙に緩漫の域を脫せざるに付其の影響殆んどなく金利等には何等の變動なきが如しと

◎米鋼鐵社長 旅程

米國鋼鐵會社々長ギャリー氏夫妻は東洋來航の序を以て南北支那を視察し滿洲より本月廿五日入京二泊の上出發日本觀光へ向ふ豫定の由にて鐵道局に對しても準備方依賴されしも其の一行の旅行は頗る贅澤を極め各鐵道に對しても最上等の客車一輛借切の要求を爲し更に旅中の食事に對し能ふ限り上等の材料の準備及びコック、ボーイの乘組準備方を申出でたりと一行は鋼鐵會社々長たるジャッヂ、イー、エッチ、ギャリー氏、同夫人及び秘書役フレデツク、サイツ氏の三氏にして別に下婢及び通譯を隨へ居れりと旅程如左

十二日橫濱より上海着、十五日出發南京に向ひ十六日南京發、十七日曲阜發、十八日天津着發同日北京着、廿四日北京發奉天着、廿五日朝安東通過同夜京城着廿七日京城發同夜釜山着直に乘船、廿八日下關着、同日宮島見物、廿九日京都着、九月一日京都發、二日岐阜鵜飼見物、二日沼津着同日箱根宮の下に赴き二泊の上四日東京着、十日出發十四日橫濱出帆のエムプレス、オブ、ロシアにて歸國の途に就く

◎石塚長官消息

十二日朝南大門驛發汽車にて金剛山に向へる石塚農商工部長官、上林山林、村田鑛務兩課長、安藤鐵道局參事、中野勢務官一行は降雨の爲め元山に滯在中なりしが十四日朝長箭に向け出發したり

◎關屋局長容態 漸次良好なり

關屋學務局長の容態に付目下內地旅行中にて局長と知り有馬に赴ける太田視學官より十三日夜其所に達せし情報によれば容態漸次良好に赴きつゝあり殊に體熱殆んど降下せる爲め顏面の朱色を帶べるものも治り脈も漸次平靜に赴き食慾も多少出で而して意識も不鮮明ならずとあり

◎古海總長碧蹄館行

古海總務總長は大橋高級副官及び齋藤中尉を隨へ十三日朝五時官邸出發にて碧蹄館に到り視察する所あり同日午前十一時半歸邸せりと

◎持地局長引籠

土木局長持地六三郎氏は此程來微恙の爲め引籠療養中なり

◎本岡事務官歸任

大日本山林大會に出席中なりし本岡事務官は十四日朝南大門驛着汽車にて歸任

◎松浦大尉出發期

駐劄軍司令部附参謀より参謀本部に轉せる步兵大尉松浦淳六郎氏は十五日午後八時龍山發列車にて出發赴任の筈

◎靜岡縣視察團

十六日朝入京すべき靜岡縣教育視察團五十餘名の京城開城及び平壤に於ける日程左の如し

▲十六日 午前十時より水下洞公立普通學校參觀京城中學校西大門俱樂部(中食)朝鮮教育狀況講演(茶菓)美術品製作所

▲十七日 午前七時半より日出小學校商品陳列館パコダ公園昌德宮仁政殿秘苑博物館植物園午前十一時[illegible]

▲十八日 午前六時五分發仁川へ八時四分着公園[illegible]午前十一時四十五分南大門發午後二時[illegible]

▲十九日 午前[illegible]

◎道廳幹部恒例會

京畿道廳各部各課長及び京畿道警務部長警察幹部は十四日午前八時半松永道長官室にて恒例會を開催し種々打合す所ありたり

◎新舊警視送迎會

京畿道警務部副官荻原大尉は扶餘憲兵分隊長に轉任を命ぜられ憲兵中尉吉田幸三郎氏副官として就任せるを以て京畿道警務部消防係にては京城府內消防組と共に新舊副官の送迎會を十三日開催し午前九時南大門常備消防所に於て一同に對し荻原大尉及び吉田中尉より離任及び就任の挨拶ありて終てより一同漢江に到り舟を賑して納涼會を開き午後四時解散せり

◎農銀鳥致院支店許可

漢湖農工銀行より總督府に申請中なりし同行鳥致院派出所を支店に昇格するの件は十日許可されたり

◎鳥致院學校組合

八月十四日全南寶城郡鳥城面一圓に鳥致院學校組合設置の件總督府より認可さる

◎大邱玄風間自動車開通

京釜線大邱より玄風に至る七里十五町間に今回自動車を運轉する事と成りたるが當分一回往復にて朝九時大邱發十時半玄風着、同十一時玄風發午後零時半大邱着、途中月背、花園、渭川の三箇所に停車し定員七人にて料金は大人一人一圓四十四錢なりと

◎京元列車延著

京元線元山桂䕃間水害の爲め十三日午後九時南大門驛著列車四時間延著せり

◎平南春蒔麥豫想

春季三月は依然として低溫なりしは土地の解氷を遲らしめ爲に大小麥は例年の播種期たる二十四五日の頃播種する能はず三十一日に至り漸く播種するを得たれば例年に比し約一週間の遲延なりしと雖も其後降雨潤澤にして氣溫高く發芽一齊に早からしめ播種期の遲れたるも成育は直に挽回され其後亦概して順調に進みたる結果小麥と共に發育何れも良好なるを得て收穫期に達したりしが『ゴールデンメロン』種は其成熟したる頃夜盜虫の被害ありしため六月中旬の頃少々ありたるも大なる障害を見ず收穫高は昨年に比し增收の見込なり

◎平南地方蠶況

平南地方に於ては夏蠶の飼育戶數千九百五十六戶にして掃立數二千百八十九枚發育良好にて目下上簇を終りたるが收繭豫想高は三百四十五石なりと又秋蠶は目下掃立を終りたるが其數千百四十枚にして收繭豫想は二百八十五石餘なりと

◎鑛船檢查施行

八月二十五日より九月三日迄全北群山を臨時鑛船檢查執行地とし朝鮮船舶檢查令に依り檢査を受くべき船舶の檢査を執行する由

◎郵便所の改稱

遞信局にては忠南大田郡鎭岑面內洞里鎭岑郵便所を來る十六日より儒城郵便所と改稱し又全南谷城郡[illegible]郵便所を[illegible]郵便所と改稱し又[illegible]停車場前郵便所にては電信電話通話事務を取扱はずと

平壤

▲平壤電氣營業狀態 平壤電氣會社が七月中市中に供給せし電力は電燈六千八百[illegible]、電動力三十七馬力其他旋風器五臺にして前月に比し多少成績良好なり

▲陸軍官舍工事 既報の如く平壤第七十七聯隊將校官舍新築工事は其後事業進捗し大工建方は重なる建物は全部建終り瓦葺に取懸りたるが新設道路も八部通り竣工したり因に重なる建築物は二十六棟四十一戶なりと

▲主計及監查官來壤 龍山第十九師團經理部三等主計吉井德藏二等主計[illegible]山靜夫二等主計武井好方の三氏は十二日安東縣より來壤旅館柳屋に投宿し又朝鮮總督府土地調查局監査官中野藤作氏は十二日安州より來壤同旅館へ投宿せり

▲警務部長巡閲 平南警務部長は十九日より平壤憲兵隊及び平壤警察署管內の駐在所及び分遣所以下を巡閲すべしと

木浦

▲重要問題經過 豫て計畫ある本道の緊要案件にして特に木浦の盛衰に關する或重要問題は其後福田會議所會頭より參考の爲め某地に對し設計書送致方を依賴中なりしが十一日回答ありたるを以て調査員を特派する必要起り中山書記長をして長崎に急行せしむる事となれるが歸來後は各方面に折衝すべく一層進展を見るなるべし因に中山書記長は十三日正午發列車にて出發せり

▲商議豫算と役員 當會議所役員及大正五年度豫算は夙に認可申請しあるに拘らず未だ何等の回示なく豫算に對しては各會議所の分と比較對照の必要もあるべく斯る遲延理由を想像し得るも役員に就ては何等の事もなかるべく會議所活動の上に支障なからざるを以て一日も速かならんことを待ち居れり

▲組合四年度決算 十六日學校組合會議に提出認定を求むべき大正四年度決算は歲入二萬三千九百五十九圓九十七錢、歲出二萬一千三百七十八圓二十三錢にして差引二千五百八十一圓七十四錢は五年度へ繰越しとなれり

▲府尹赴任未定 上京中の橋本府尹は逝去せし母堂の遺骨を携へ鄕里へ赴きたるが其後何等の消息なく歸任日尙未定なり

鎭海

▲海軍工事 目下鎭海在勤の海軍部內に於ける工事は岩崎組請負の竹敷よりする官舍移轉工事と三池土木の表裝庫建築火藥庫敷地工事位のものにして遠からず下士集會所建增工事の起工を見るべしとのことなれど是亦材料は竹敷より運搬せらるゝものなりと

▲敎室敷地と病院跡 鎭海學校組合にては本年度より新入學生徒を收容すべき教室に不足を感ずるより增築問題に付管理者組合會議員も種々苦心計畫する所ありしに幸にも竹敷所在の病院跡百五十坪は或は公共團體特に敎育事業に使用する目的なれば無償讓渡の詮議相成るべきやにて山口要港部司令官に懇請し同司令官より經伺中に就き不日何等かの通知に接すべし

▲鎭海現在戶口 鎭海七月末調查の內地人戶口數は戶數一千五百五十二にして人口五千七百十六なるが之を前月に比較すれば戶數に於て四戶人口に於て三人を何れも增加せし計算なれども其實際は家族を當地に殘し退去せずして一時大邱又は北咸地方に出稼するもの多く確實に現在數を調查すれば確かに數十人又は其れ以上の減少なりと察せらる

▲司令官と文祿慶長役 鎭海要港部司令官山口少將は昨秋着任以來慶長文祿兩役に於ける戰蹟地理、戰死者、病歿者等の史蹟に關し種々調査研究中なるが來九月中旬を以て當時當方面に出陣したる戰歿者の英靈を慰むる爲め祭典を執行すべく今より其々準備中なりと云ふ故に之が史料又は戰病歿者の姓名等を調査保存せるものあらば其何家何人の手に成るものとの論なく寄稱せらるゝは同氏の最も歡迎する所にして同氏の祖先は巨濟島に於て戰歿したる一人なりと

人事消息

▲栃內次郎氏(海軍省技術本部長) 入京中の處十四日朝南大門發平壤へ

▲小林陽造氏(海軍中佐) 同上

▲大場竹次郎氏(代議士) 十四日朝入京龍尾館へ

▲藍田義藏氏(步兵大尉) 入京中の處十三日夜退京

▲岩谷次郎氏(奉天山林煙草公司員) 同上

▲足立丈次郎氏(東拓殖產課長) 令孃結婚の爲め十四日朝京都へ

赤門印 人參規那鐵葡萄酒
貧血、衰弱、疲勞、婦人病等に最適の飲料 是非御召しあがれ
發賣元 小西商店 釜山倉庫
到る處の有力なる藥店食料品店にあり

北海道產 海產物 雜穀 輸出商
小樽區港町本通
大杉商店 電略「ヲ(ス)」

◎夏物紺セル洋服 鐵道局拂下品
一等無キズ品 壹組參圓五拾錢
二等品 壹組貳圓五拾錢
三等品 壹組壹圓五拾錢以下
其外雨覆日覆用携帶天幕 雨合羽冬絨洋服外套類
龍山元町二丁目
和服洋服商 金子與市商店
振替京城三八一 電話一〇五三番

電話增設百〇五番
大客の商盆々御隆盛奉大賀候小店事
御蔭を以て日に增し隆盛に趣き候儀
偏に御各位樣の御愛顧の賜ものと奉
深謝候尙今後は一層勉勵の上御厚誼
に酬ひ度就ては從來の店舖にて狹
隘にて兎ても御注文に應じ切れず候
故今回岡崎町練兵場前に廣
大なる敷地を買求め目下
工場新築中に付落成の上は完
全なる工場の設備と老練なる職工を
以て專心鑛山用諸機械及工具排水灌
漑喞筒を專門製作可仕候間不相變御
引立の程奉希上候
鑛山用諸機械工具
排水灌漑各喞筒
直輸入製作販賣
京城南大門通五丁目
中根商會
電話 長百〇四番 百〇五番

日本國民は「太平洋の明日」を考へねばならぬ

『滿洲の石炭＝朝鮮の重油？』＝米國は何故海軍を擴張するか＝ 栃内提督の車中談（二）

現在の海軍はまだ石炭の時代で石油の時代とは成らないが何れ近き將來に於ては必ず石油の時代と成るに違ひ無いが今日の急務に追はれてゐる我々は石油の調査をするよりも先づ差當つて石炭の調査を必須とする順所である我輩今回の旅行は

◆技術本部長として の視察に偽り無く朝鮮滿洲に於ける炭坑視察であるが朝鮮では平壤で寺洞の鑛業所唯一箇所を見得るのみであるのは遺憾である寺洞の無煙炭は德山に於るものと相對して日本に於る唯二箇所の良炭を出す大切な炭坑である日本の海軍は改めて言ふ迄も無く英國のカーヂフ炭を使つてゐるがカーヂフと云ふ處が遠くはあり外國ではあり萬一の場合を氣遣つて德山及び寺洞で練炭を造る事に成つたのだが現在の處是れ以外の

◆石炭は質が惡るい ので使へないのだ九州各地の石炭にしても流石撫順の石炭にしても怎う海軍で使用し得る程度の條件を備へてゐない撫順の石炭は質が柔かな爲めに例へで木でも燃やす樣にボーツと一時に燃ねて熱の持久力に乏しいのだ其爲めに却つてストーブ用としては最も適してゐるが熱の持久を必要とする軍艦に使ふには適しない朝鮮の汽車が內地のに比して

◆廣軌丈けに乘心地 はいゝが怎も煤煙が惡いので難んでゐたが夫れが撫順炭を用ひてゐる爲めなのだと知つた、然し撫順炭は日本にとつては非常な寶物だ撫順と云ふ處は實に一大寶庫だ彼處が何二三箇所欲しいものだよ。處が大倉組の經營してる本溪湖は又大倉組が自慢してる樣に日本の矜誇だ實は彼處の石炭を海軍で試驗したが略カーヂフ炭に匹敵すと云ふ好成績なのだ抑もカーヂフ炭は

◆世界の奇蹟で彼處 に質のいゝ無煙炭は現在迄世界の何處を搜しても發見されないんだから情無い米國に一箇所無煙炭を出す處があるが本溪湖炭よりも遙に下位の質である卽ちカーヂフ炭が世界の珍寶である丈けに本溪湖炭が日本の珍寶と成つて來る譯だ本溪湖炭を海軍用として使ふ樣になるか怎か現在の處では決定し無いが何れは其麼事に成る時代が來るかも知れない―最近に米國人が

◆朝鮮で重油を搜索 してると云ふ噂を聞いたが朝鮮に重油坑の存在が發見される事と爲れば非常なものだがなア。現在迄の日本の石油需要量は日本產半數外國產半數で外國產は英油と米油なのだが揮火用として許りでも今後いくら湧出しても需要はあるのだから今後軍艦が石油を使ふと云ふ事になれば今迄の需要量では到底も濟まされない事になるのは言ふ迄もない實際に於ては石炭よりも石油の方が經濟で然も輕便なのだ今迄の處ではまだ其程迄に石油が重視されて居なかつたが將來必ず重視される時代が來るに違ひ無い日本などでは

◆最新式軍艦で石炭 と石油と兩方を使ふ樣な設備に出來てゐるが外國では石油許りの軍艦がいくらもある英國では一九〇七年に龍骨を据ねたスウイフト其他の如き小巡洋艦にいくらもあるがキヤピタルシツプでは昨年龍骨を据ねたのに純石油使用のがある位だ然し要するに戰爭中なのだから其邊の深い事は確然とは判明しない米國にもニユーメキシコ其他二隻

◆此純石油使用艦が ある先づ此位のもので未だ現在に於てはほんの一部分に過ぎないんだ、併し歐洲戰爭と云ふ一大鑑査の後には如何に大變化を現出するか知れない否現に戰爭中で各國の內狀を詳かにし得ないからよくも判らない樣なものの之が悉く知り得るものとすれば何うであらう

●高瀨舟で江界江下り

神か人かと朝鮮水夫の驚き 長良川で多年修練の腕の冴に

＝鈴木土地調査局長の北鮮視察土產＝

今回國境を長旅して內地人船頭の優れた技倆二つを見た、一は

■奔湍矢の疾さ 江界江の舟楫他は有名な鴨綠江の筏流しである私は平北の江界から滔々たる江界江の激流數里に舟を下し時川場に上りそこから騎馬で滿浦鎭に向つた、元來江界江は岩の突出多く急流泡立つて流れてゐる、屈曲も多い、で朝鮮人水夫は危險な川と稱し江界江に舟を浮べる事は絕對に

■出來ない業と していたゞ此の鴨綠江支流の水運は何等の用をなさなかつたのである所が昨年鴨江運輸公司の持殊な造りを誇る高瀨舟に岐阜縣長良川に腕を磨いた水夫が乘り込み惠山鎭の少し下流から此の急流に棹して江界に上り運輸の便を開くに至つた、之れを見た朝鮮人は日本水夫に

■鬼神の伎倆を 有してゐるやうに驚ろいたさうである、平北の產業は年々長足の進步をしてゐる、江界地方に於ける繭の新義州への輸送や諸雜貨の積載需給などは此の高瀨舟が當つて今では欠ぐべからざる平北內部の交通機關となつてゐる私の一行は繭と一しよに積まれて江を下つた、その舟は

■最先端の一艘 で內地人の熟練な船頭が特に二人乘り四五艘の高瀨舟が跡に續いてゐた、渦卷く奔流に數知れず突出た岩を右に左に除けつゝ棹を差す巧妙さは流石に熟練の恐るべき技術であつた、私の舟は一度岩に乘り上げたそれでも別に

■水夫も乘客も 何の故障もなかつたが流石に膽を冷やして兩岸の風景展望所の騷ぎでなかつた

▲筏流し

木曾自慢の唄聲

鴨綠江の筏流しは敢て珍らしい話ではないが假に國境の一名物たるを失はぬそこには卓越した內地人水夫の筏と頓馬な支那人の筏とが明らかに優劣を目に映す

▼支那人の筏 は山元で半ば材木に拵へ幅五六間長さ十二三間位の長方形な筏に組み確り縛つてゐる筏の上には小さい小屋を一つ二つ建て八人乃至十人の水夫が晝夜を分たず乘組み乍ら川を下す、所で其筏は長方形でギツシリしてゐる爲め岩にブツ突かつたり淺瀨に乘り上げたりすると全部解き直さねばならぬ、その手數も大變だが晝夜なしに流すのだから夜間は殊に危險で支那人筏流しの水死は一向珍らしくない、內地人筏流しに聞くと鴨綠江一回の流下で

▲二十人以上 の支那土左衞門を見る事があると云ふ、所が林廠では兩三年前例の長良川木曾川で流筏をやる連中二百餘人を呼寄せた、彼等は山元で原木の儘長三角の筏を極めて輕く組み流れに隨つてウザ〳〵動きのとれ假令岩や淺瀨に乘りあげても障らぬやうにしてゐる、夜は一定の場所に繫いで眠るから危險も少なく然も流下する量は支那人に劣らぬ流す時は

▲尖端を先き にし例の優妙な筏流しの歌を唄ふ、これには支那人も吃驚してゐる

●まるで秋のやうな氣候だ

颱風が九州の南を通過する 關門海峽が荒れるかも知れぬ

仁川觀測所の觀測に依れば去る九日以來氣壓配布は初秋の狀態を呈し高氣壓はオコツク海よりシベリヤ東部に擴張し南方に逝減し南方洋上に颱風の發生せんとする模樣なりしが果然十三日朝臺灣石垣島間に優勢なる颱風出現し徐々に北東に進み十四日支那東海に進入せし爲めに朝鮮は一般に北東風強し然れども颱風の中心は尙ほ遙に遠距離にあるを以て元山附近の東岸を除きては未だ降雨を見ず該颱風は九州南方を經て本州南岸方面に進行せんとするものゝ如く目下の狀勢にては朝鮮は直接に通路に接せざるべきも海上は一般に北東風強く警戒を要すべし

●連絡船ロマンス

失戀の女＝投身者＝國元の親 葉書で五十錢の無心を言ふ狂人 阿彌陀樣のお蔭で汽車が早かつた

私共は年中船に許り乘つてゐますが乘客の中には隨分色々な方がありますよ此の間も釜山から下關に行く

◇三等乘客中 に一人の勞働者らしい男がありましたが、其の男は密かに私に合ひたいと云ふから會つて見ると、今日大邱から自分の乘つた列車は約一時間半許り遲れたが、其れでも釜山には定期の間に合つて到着した、是は全く自分が平常熱心に阿彌陀樣を信ずるからであると大に宗教の講釋をしますので、是れは少々キ印ではないかと思つて居ますと、果して上陸後間もなく福岡縣から葉書で金五十錢を借して呉れと申込んで參りました、そこで私は此の

◇葉書を封じ て福岡の運輸事務所に紹介してやりましたが其の後も催促の葉書がありました、多分精神病者であつたらうと思ひます さて更に話題を轉じ連絡船から海の中に身投する者は一年には約十五六人位ありますが大抵は助からないやうです、今年になつてからも五六人許りありましたが、多くは病人とか事業の失敗者とか世の中を悲觀した結果のやうです、中には若い女の失戀自殺などもありますが割合に女の方よりも男の方が多いやうです、奇體なことには何の

◇投身者でも 海の荒れる時には身投げをせず波の靜かな時ばかりするやうですが、私共から觀ると却つて海の荒れる時が好いやうに思ひますが……矢ツ張り海の荒れる時は恐いと見ねますネ……身投した事を知つて居れば直ぐボートを卸して救けますが大抵は船員の知らぬ間に投身するので救けることも出來ず後で荷物や遺書で初めて自殺した事を知る位です、此の間も大邱の某女屋の二十一二の息子が釜山から

◇下關に行く 時、デッキの上から投身しやうとしたのを早くも事務員が發見しましたが、色々事情を聞て見ると大に同情すべき點がありましたから、上陸後事務員が口を聞いて或商店にお世話致しました然るに此の青年は途中から實家に迄書を送つたと見ね船が下の關に到着すると間もなく親父から今日船の上から身投げした者がないかと問ひ合せて參りましたが、何れかと云へば身投げする者は老年よりも青年に多いやうです、是は多分青年には感情に驅られる者が多いからでせう（關釜連絡船新羅丸にて東頭事務長の談＝釜山支局）

●疳癪料三十圓

枕を投げて噛み付いて

京城貞金町二丁目居住山口縣厚狹郡船木村生れの飲食店營業梅津伊三郎（三九）は七月十二日早朝內縁の妻淸水いしと爭論をなし自暴酒を仰て泥醉し裏座敷に遊寢をなし居れる際いしは嬰兒を共鑑店の間に置き去りて外出したれば伊三郎其の泣き聲に眼を醒まして癇癪を起し偶同家に賣掛代を取立ての爲め來合はせゐたる高陽郡龍江面血脈里の生魚行商張劍仁に對し物をも言はず有合せたる枕を投げつけたる上左腕に咬みつきて治療一週間を要する創傷を負はしたるため引致せられ京城地方法院にて罰金三十圓の處分となる

●甲板上で負傷

仁川金谷里三十三番地中善明方朝日組仲仕李永奎（二）は本月十三日午後一時頃碇泊中の汽船神祐丸甲板上に高さ三尺位の足場を作り石炭を積込中誤つて足を踏み辷べらし甲板に墜落し船の器具にて強か後頭部及び上腹部を挫ち人事不省に陷りたる騷ぎに直に解船に移して佐藤病院に舁ぎ込み手當を加へ自宅に連れ歸りて靜養中なるが生命には別條なしと

●消毒劑の發明

撫順モンド瓦斯主任渡邊工學士はタアルより消毒劑を得る途を發明しレオクレオリンと命名したり該藥品は最も誇るべき新發見にて專賣特許を得べしと云へり（撫順特電）

●寶藏名畫を盜む

京畿道漣川郡旺澄面靑洞里の洪東根（三七）白鶴面通日里柳瑩永（三七）長湍郡長道面古邑里金永寶（五九）の三名は共謀し七月三十日夜長湍郡津西面華藏寺に忍び入り住持李知永所有の恭愍王の肖像を描寫したる同寺の寶藏の名畫一幅を竊取したる爲め遂に北部の手に捕はれたり

●六百圓の拐帶

全北群山全州通り田中陶器店に同居し居たる山口縣人松崎鎭一といふは十日午前九時頃同店より內地へ送附すべき六百圓の銀行小切手及び現金三十圓四錢を携へて銀行へ赴く途中惡氣を起し六百圓も現金と交換し車に乘りて地境迄落延び同處より汽車にて何處ともなく逃走したり訴へに依り群山警察署にては同人の行衞を探嚴中

●東朝鮮水害頻々

永興江の氾濫＝五大川の增水＝山崩れ

■永興浸水 咸鏡南道長官より十三日午後總督府に致せる電報に依れば同道永興郡地方に於ては數日來の降雨の爲め十三日午前八時永興江の增水十五尺に達しサイシン江逆流して永興邑內の一部浸水せり、危險區內の住民は續々避難し居れるが一地以南の各地に在りても亦出水の厄を被れるものゝ如く人畜、畓田等の被害は目下調査中なりと

■襄陽方面 九日夕刻來の降雨被害に關し其の狀況に就き江原道警務部長より警務總監部に到著せる報告によれば襄陽警察署管內其の後の被害は朝鮮人溺死二家屋の半壞十一浸水七十二、其の他田畑等及び道路等の被害多大なる見込なるも今回各方面との交通杜絕し調査する能はず平昌地方は珍富面に於ける五大川增水一丈餘に達し電柱及び橋梁の倒壞流失したるもの多し又同面は山崩の爲めに朝鮮人死者九負傷六を出し目下詳細調査中

▼鐵道線の被害

■京元線 葛麻元山間にては十三日午前二時頃より龍山起點百三十六哩三十五鎖附近に於て約二鎖の浸水を爲し一時列車不通となりしが午後一時復舊せり

■咸鏡線 元山德源間及び文坪齋間の水害は十二日午後十一時三十分頃より元山德源間德源川第一及び第二兩避溢橋粟築堤流失續いて十三日正午頃より文坪文川間元山起點九哩六十五鎖附近の築堤約十鎖崩壞流失し列車は不通となりしも元山德源間は十三日午後二時に至り、文坪文川間は十四日午前四時に至り復舊工事竣成列車運轉せり

●橫濱虎疫猖獗

橫濱に於ける虎列拉病は猖獗して益々蔓延の兆あるより其筋にて嚴重に警戒中なり（東京電報）

●實扶的亞發生

仁川署管內富川郡永宗面後所里十八統二戶李順蓮（二九）は去る七日發病十二日鮮醫林容均より實扶的亞と診斷したる旨屆出たれば型の如く係官出張嚴重に消毒を行へり

讀者文藝（一等には五十錢の賞與券を呈す）

○二一口噺

讀者『離宮に落雷したそうだが恐れ多い事だ』與太『其雷は不敬罪に問はれるだらう』（一等） 義州 久住 松月

▲子供『お母さん文と云ふて虫が來れば蚊だれ！』 京城 窪田 未曉

▲兄『今日の野鍛の仕合で竹刀で三ツ打たれた』弟『兄さんシナイでどうして打たれたの』 仁川 林 秀水

▲船長の子『僕のお父さんが道を通ると人が御へ除けるよ』操水夫の子『僕のお父さんだつて同じだい』 水原 初 西

▲甲『何だつてそんな緩い褌をしてるんだい』乙『これでも毎年流ふんだ』 京城 今井 晉七

▲課題及び募集規程は欄外にあり

●木材界の大福音 朝鮮木材界の大宗たる營林廠龍山出張所に於ては在庫品整理の爲め和松、杉松、落葉松を始め挽材柾材小割材に至る迄潛滿品に在りては總督府特別會計に屬する官署及び木材取引者には一割五分其他の者には破天荒の一割引を以て提供するのみならず[illegible]村落は大々的割引一車扱又は函扱は新義州發送の分と同樣非常なる特典ありと

曇時々晴但少雨

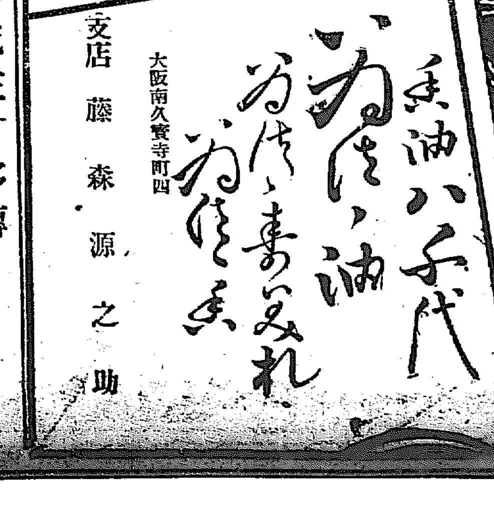
かつけ 胃腸病 心臟病 特効精糠
定價金五十錢 ●本舖大阪市安堂寺橋通二丁目佐藤ライト商會 ●精糠は全國各藥店に販賣せり ●近時精糠と稱するに之物有御買求の節は必ず發賣店名御指命を乞 ●七月廿五日掲載の右佐藤ライト商會精糠廣告の內近時精糠と稱するに之物有とあるは近時精糠と稱するに之物有の誤りにつき訂正す

マルソイド便利太
屋根葺材料中の覇王
酸氣塞暑に耐へルーフヰング中最優良の實驗證明を以て斯界に名聲あるマルソイドは重量輕く施工簡易鐵板代用に最適品なり
東京丸の內 東京府廳前 藤原商店

書畫骨董競賣
明十五日競賣午後一時より興て成行にて放賣す
京城明治町 京城競賣株式會社

一番安心シテ使ヘル 特製純十四金ペン先付
國產ナイル萬年筆
正價一圓以上數種有之候
發賣元 京都東山二條 電上一八七一番 帝國萬年筆製作所
代理店 京城本町二丁目 電話二六二番 織居時計店
全國到る處に販賣せり特約御希望の方至急代理店へ御照會

內科 小兒科 芙蓉醫院 醫學士 森定詰 電話三六三
京城本町二丁目（瓦斯會社向側）



新築落成左に移轉
齒科醫學士 穴山清作
大邱府上町（電話二二八番）
十二間道路突當り

…の貯へも費ひ盡して生計困難に陥り…漸く其日を過し居りしが不幸にして…此程腸窒扶斯に罹り入院するに至り…も何分手後れの爲め晋一郎は去る九…日遂に死去したるが郷里には兄弟親…

●連絡船上陸客 十三日朝入港高麗丸二三等客（一等）森林満造、有賀光豐、同光耶、秀内賀次
十三日夜入港（一等外人二名、松本勝太郎、池田萬四郎…井耕次郎（二等）浦本一族、伊藤良吉、大川ため…

□濁つたが 水質には異りなし
京城市中十三日の水道混濁に就て
▼濁度は百萬分の五——水道係の辯明

常に清澄であるべき水道水が十三日は怎ういふものか些し赤色を浮びて濁つてゐたので京城市中の臺所向きでは

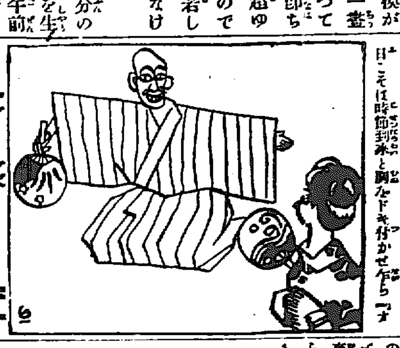
▼氣味惡る かつて水道係に問ひ合はせるものもゐたが、之に就いて水道當局者の説明を聞いて見ると曰く頃日僅かに漢江が増水し水源地の如きも増水二十五尺に達した結果十二日夜に至り濾過水に僅かな混濁を見たのであつた。元來

▼京城水道 は他の水道に比して給水量が多いの割合に規模が小さく普通の濾過速度の標準が一晝夜八尺であるのに京城水道にあつてはその倍の十五尺なのである、卽ち濾過速度が標準以上を超ゆれば超ゆる程十分の濾過が出來なくなるのである然かも京城水道にあつては若し是以下であつたならば斷水しなければならぬのであるその上に

▼源水混濁 のため十分の濾過が出來ず市中の給水に濁りを生じたのである、然かして十四日午前此の水質試驗を行なつた結果別段に異狀を認めず唯水中に粘土の固形物が平常より約二割多かつたのと有機物を少量含んでゐたに過ぎなかつたのであつて之れを

▼町の井水 に比較すれば遙かに優つて居る事は言ふまでもない、その濁度は極めて微少であつて水百萬分に對して五乃至七位であつたところから之れがために斷水を爲すよりは給水したのであつたが十四日に至つてはそれも全く平常に復したのである

□セ、ツレヨン式 めちや吉



新婚以來餘り仲が善過ぎての平凡に、少々倦らなく倆には本氣に掴み合ひもやつてみたいものだと燥れ〳〵心掛けて居た主人、サア今日こそは時節到來と胸をドキ付かせ乍ら「オイ〳〵馬鹿もいゝ加減にしろ、こりや恰で鼠ぢやないか、これで手が動くと思ふか、サア今日こそは學校で教はつたなんて云はされねぞ」との荒々しい勇足に、細君一寸困つたが孜から「セッションぢやありませんか、おゝ、ほゝゝゝ」これで今日も無事泰平家內安全めでたし〳〵

●柔道擊劍水泳 暑中休暇を運動に使ふ平壤中學

平壤中學校では暑中休暇中において生徒の遊惰安逸に流るゝ弊を避け又其剛健の氣風を養ひ且つ健康を保たしむる目的で休暇に入つてから寄宿生徒及び在壤の生徒を毎日午前八時より寄宿舍内の講堂に集め各科教員をして科外の講演をさせる一方午前九時より午後まで運動をさせてゐる而して本月六日までは柔道の練習をしてゐたが七日からは大同江船橋里前で水泳を開始したが水泳の練習は本月十九日を以て修了後廿日より休暇の終了まで劍道の練習を爲す筈で休暇中に於ける職員生徒は何れも元氣揃ひで一人の病人も無いさうである（平壤一記者）

神社とお寺と教會

○龍山西本願寺（元町二） 十五日午後一時より婦人會にて松原總長の講話あり、騎夜八時よりは祖師聖人御逮夜法會あり
○東本願寺（南山町） 十五日午後八時より三日戒の法要ありて講經後說教あり
○開教院（本町三） 十三日午後八時より例月の通り婦人會ありたるが廣安總監の説教ありし由る盛會なりき

▲麥らくがん 上等砂糖百目を大丼の如きものゝ中に裏ごしにてこし水飴を湯にてうすくときて冷やしたるものを少しづゝふり込みては指先きにて手早くまぜにぎりてかたまる位になりたれば八十目の麥こがしと一匁の食鹽とを入れてよくもみ合せらくがん形につめてぬきはいろを取るか一夜其まゝ置きて用ゆ

番茶のあと

殘暑酷しく〳〵——なぞと暑中見舞を出し遲れた人が思ひついた樣に出す端書の冒頭に置かれる通り本當の暑さは却つて土用後に來るものであるが今年土用中も涼しかつたが土用が明けてからは夜なぞ袷が欲しい位涼しくなつた▲その上に雨が多く天候は甚だ順調でない▲朝鮮に二十年もゐたといふ人の話によると今年の樣に雨が多く涼しい年は始めてであるさうだ▲これに就いて困るのは市中に三百軒近くある氷屋だが、此の分では今年は此の先暑くなる見込みもなし到底算盤は持てぬと見たか▲ボツ〳〵店を閉ぢるものが出來て來た▲その代りに水瓜や眞桑瓜などの果物は林檎、桃なども共に盛んに市民の胃中に收められる▲寢冷や腸胃を壞して傳染病に罹るのは是からである

■元山は大變凉しうムいますと
金剛山に往きたいのですけれど船が小さくてとヤング夫人の巧な日本語

□ジャパン、クロニクル社長のヤング氏を元山の大東館にお訪ねしますと折から湯上りの輕裝した太つた夫人が可愛らしい孃さんを伴ふて這入つて來られました□蓋し夫人の日本語と來ては巧いといふ遜を通り越して兎もすれば自分等の方が恥しい位なのです『元山は何時でも斯んなに涼しいのですか、マア結構です事ねえ』と凉しいと云ふことから毎年の避暑旅行談が出ました□旅に出て一番嬉しいのは其土地の人の親切です、外國人だと思つて無暗な事をする處がありますがそんな所へは二度と行く氣になりません□近頃富士山に登る外國人が年々澤山になつて來ますのもやはり其爲で私も先年富士に登りましたが彼地では宿に泊つても人力車に乘つても決して外人だからといつて高い金は取りません皆定價通りです□朝鮮へは今度が二度目で此前は昨年の十月に一寸金剛山へ伺がひましたが丁度共進會の時分でした。金剛山には是非行きたいと思つて來ましたが船を見ますと餘り小さい船だものですから十二日に千噸程の船があると云ひますからそれ迄待たうかと思つてゐます□妾等は皆日本料理が好きです、けれども日本料理を頂くと醤油を使ふ加減か咽喉が干いて困りますと一寸一息番茶の赤く出たので咽喉を濕ほして今度は手近のトランクから軍服を著た若い男の寫眞を三枚出して□此三人が私等の息子です一番の兄でアーサーヤングと謂つて陸軍の中尉二番目のツウークレス、ヤングは丁度二十一歲で海軍の飛行將校です□三番目がエーリク、ヤングですが是れは今年十七歲で軍人になる迄に何かお國の爲に盡したいと只今はロンドンの砲兵工廠でアノ大砲の彈丸や小銃の彈丸を造ることを手傳つてゐます、三人の息子も此處に居る娘一人も皆んな神戸で生れた者許りですと流暢な日本語でいろ〳〵お話しになりました（元山にて一記者）

商況

東京株式特電 十二日 前場寄付・大引
日本郵船、京城電氣、同新、鐘淵紡績、日清紡績、東京株式、東株新、東新第一、東新第二 [illegible]

公債直取引特電 東京 十二日出値段（前日との比較） 五分利、五分特別、四分、二回四分、一回五分、甲五分 九八、一〇 九七、九〇 [illegible]

深川在米特電 十二日現在高 内地米、朝鮮米、外國米 一六、八三一 五一、〇四三 一、五九八、六八 [illegible]

東京期米特電 十二日 前場十月限 寄付、高値、安値、引 一六、一五四 一五、九九五 一五、九九六 一五、九九九 後場 [illegible]

大阪株式特電 十四日 前場 後場休會 宇治川水、神戸電氣、京阪電鐵、和歌山電、京紡、合同紡、鐘紡、同新、東洋紡、大阪鐵、日本郵船、大阪商船、東京米穀、大阪株新、大阪株式 [illegible]

大阪三品特電 十四日前場 八月限、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限 四六、六〇〇 四七、六〇〇 四六、二〇〇 四六、五〇〇 四七、八〇〇 四六、五〇〇 [illegible]

大阪期米特電 十四日前場 [illegible]

下關期米特電 十四日前場 當限、中限、先限 寄付 一四、八五 一五、四一 一五、九一 [illegible]

雜報 十四日前場 寄付、高値、安値、止め [illegible]

●銑鐵は不味
本品は ブラスト及びレットカーの如き輸入品は昨今殆ど其影を失ひたるも之に代るべき印度及び濠洲方面より輸入さるゝものも其後增加したる爲め先頃來大阪市場や釧路の物價の惡影響を受くると比較的僅少にて主として釜石銑によりて市場の氣配を保ちつつあり…相場は軟弱なる趨勢にあり

●鐵材小波瀾
…の持合氣味なるに反し當地に於ては物によりて騰落多少の變動を示せり…丸鐵一分五厘角鐵…に於ては依然…

●洋釘昂騰す
洋釘は前報の如き事情にて三時の二圓上下に高騰し最高五十錢乃至一圓三十錢方の値上を見るに至れり…

●玉葱續々入荷
は昨今泉州の出廻續々あり本年は各地共に作柄の良好なると此處出盛に向ひ氣配は…

仁川米豆取引所仲買人 ㊐ 仲買店 支配人 土居勝 電話二八二番 二八三番

下關相場
▲朝鮮白米も好調 依然買れ行き歩々しからずと雖も何分内地朝鮮米の好調に連れ產地の如き又々減切引讃りた停へ自然不引合を嘆に各米主の實望きに依り人氣好調を呈し…

▲大豆は依然强し 前報後産地二百六十五俵本地產八十俵フリツオ産二十叭新義州產二百十叭等の輸入ありしが依然地高不引合を嘆に各手持筋の賣惜しみ…

▲小豆は變らず 本品は依然…用口への賣行きも俄然至らずして見…

京城正米
▲朝鮮一等白米（當用）十五圓十錢
▲同二等白米（當用）十四圓七十錢
▲同上一等白米走り 十二圓二十五錢
▲金山新大豆走り 十二圓
▲鴨川籾青大豆 十一圓三十錢
▲元山大豆〇上 十四圓二十錢

南大門の廻穀
十三日分 [illegible]

●白絞油益强硬
種油の漸騰によりて本品も又揆相場を引締め人氣强硬なり前報相場値の十二圓は今や事實に確守せらるゝ事となれり

●軍隊米と落札
陸軍倉庫に於て十四日軍隊米の入札ありたるが左の通り落札なりし 玄米五百石値段十四圓十五錢 京城精米所、白米四百石値段十五圓八十錢 天日精米所、納期は玄米八月三十日白米は八月三十日と九月上旬の二回に分納の筈なりと

●干瓢は混沌
古綿境前に於て空前の高値を出し當に土げ抑へ勝なりし當地に於ても四十圓近くまでの取引行はれしが物は昨年來の高値に作附を增加し實數も夥しからうに之が出廻りと共に相場の低落を許すの…の需品は大和産にて二十圓見當

京城取引所仲買人 三巴仲買店 電話二二一二番

●生果依然不味
…られ其後の入品野州産は十六圓…實値なりといふ内地市場に於ては下相場の暴落極まりなく未だ底の見込み立難き模樣にて此處如何は本品の前途に至大の影響あるものなれば昨今の空模樣は一般に重視しつゝある處なり

●一鄕買氣引立
の著荷總數は三百個內外に過ぎざりしが前日來の人氣は依然不變なりし掛けに林檎上物一圓水蜜桃八十錢…

仁川現物市場 十二日
平澤白米 二七叭　小井里白 五七叭
平澤大麥 四五叭　済水小麥 八一叭
天安籾 [illegible]
烏山白米 五五叭　烏山大麥 [illegible]

釜山市場 十二日
△正米（又々二十錢高）各產地品物の出廻り品至つて少なき折柄本市定期米も各地一齊高の爲め…

仁川期米 十四日前場 [illegible]

▲十四日前場 ▲大阪天候曇天
▲大阪五節十六圓〇八錢と暴騰 [illegible]

確實 迅速 仁川海岸町 取引所仲買人 (マ) [illegible]正太郎 電話六五一番

市場零聞
▲前場跳ね返す ▲氣候又不順 ▲露國軍需米輸出 ▲高報等買氣濃々 ▲仁川米界は頗る多趣 ▲味を以て目先 ▲優勢に買捲 ▲深甚なる强弱の腹入額 ▲前場の手振 [illegible]

十四日の十月限 仁川米豆取引所
寄付 十三圓六十八錢 ／ 高値 十三圓七十四錢 ／ 安値 十三圓七十五錢 ／ 引け [illegible]

小賣白米 現金賣 一等白米 十六錢五厘 ／ 二等白米 十六錢 [illegible]

北濱だより
▲合同紡績株 ▲十限の前途は恰も新穀の出盛り期 ▲大變動は豫期し難し ▲稍强硬の場面と變化 ▲目先期米親 ▲筋の附け替 ▲肩代り玉と京城客 ▲一變强硬 ▲各店大商內 ▲巨大に買ふ ▲今筋續て賣る [illegible]

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動株式會社特約 特種三大寫眞 日活舊劇 浪人蝶次 全三卷 ／ 新派 國家の秘密 全四卷 ／ 悲劇 添はれぬ仲 三卷 本日より上場

壽座 京城壽町 電話五七八番 東京演劇協會 東京歌舞伎女優中村 八月十五日（第十二回目）替藝題 一番目 第一 杉酒屋の場 第二 御殿 七物語の場 中幕 守宮酒 一まく 喜劇 智惠鼓 河島家庭園之場

御成座 御成町 電話一九一 新派 中村榮一行 悲劇 思いやり 全八場

黃金館 電話 一八五二（階上）二六三七（階下）[illegible]

名菓 M EP 大阪…

胃病にて御困りの方は 山田胃散 京城黃金町三 山田文殊堂藥房 電話一九四

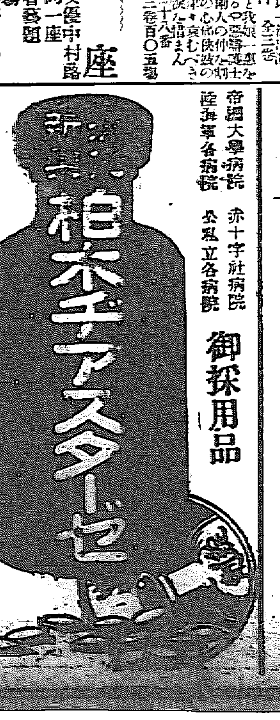
期米 大阪堂島米穀取引所仲買人 曽我商店

大阪株式取引所 仲買人 吉野屋商店 營業所 大阪市東區今橋一丁目 公認 株式 定期 現物

新築落成に付左記の處に移轉八月十二日より從前の通り診療に從事す 仁川仲町（電話四〇九番） 佐藤病院 院長 ドクトル・メヂチーネ 佐藤小五郎

官許 飲料氷 氷！氷!!氷!!! 弊社販賣の飲料氷は大同江上流に於て採取せし堅氷なり 在庫品三十五萬貫 平壤櫻町三番地 三榮社氷販賣部

糖化力最强にして効力常に一定す 相木ヂアスターゼ 發賣元 帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品



輕便鐵道 列車時間表 价川發、新安州著、新安州發、价川著

內科 小兒科 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇

內科 特に小兒科 婦人科 京城本町五丁目郵便所隣 淺川醫院 院長 正七位 淺川源一 電話一二三

子持藥 人參 秋野商店

宮本武藏

第百二十九回　浪上義三郎口演　桃川如燕速記

お雪は三浦屋に居りましたが其中四郎左衛門が神田白壁町の紺屋儀兵衛を尋ねると火事で焼けて何處へ往つたか分らないといふ、仕方がないからお雪に話つて言ふとお雪も考へました、兩親はなし親みに思ふ弟には別れ、今亦尋ねる儀兵衛は行方が分らんといふは能な運の惡るい身上、其れに付けても三浦屋四郎左衛門の親切は一方でない、世の中には侠氣に富んだ人もあるもの什麼かなつたら此恩儀に報ひなければならないと考へて居りましたが或日の事四郎左衛門に向つて　雪『アノ親方少々お話申したい事がございます　四『お嬢様何か御用で　雪『ハイ妾も不圖した御縁で此方様へ御厄介になりましてモウ三月餘になります、御心配下さいました弟の行方も未だ手掛りもございません、紺屋儀兵衛も爾ういふ事になりましてはたとへ尋ね當てましても力にはならず、御迷惑でも之れから力とお縋み申すのは此方ばかり　四『成程　雪『御恩のほどは生々世々忘れませんが改めて親方さんにお願ひがございます　四『ハア　雪『什麼ぞ妾を遊女にして御店でお使用下さるやうお願ひ申します　四『何んでございます　雪『妾をアノ遊女にして下さいまし　四『飛んだ事を仰しやる御冗戯仰しやつては不可ません、貴女は遊女を何と思つてお在なさる　雪『遊女は遊女で　四『遊女は遊女だつて遊女といふものは源平藤橘四姓の人に枕を交す賤しい勤め、親兄弟或ひは夫の爲め據なく身を沈めて居ります、之れを苦界といふ、女郎屋の亭主が恁んな事を申すと可笑しうございますが好んでする稼業ではない、貴女は淺野家の弓術指南番御間部様の御息女、八百石のお嬢様だ、其れが冗戯にも遊女にして呉れなんて仰しやるものではない　雪『いゝえ、御尤でございますが妾も種々考へました末で遊女とは言へ強ち毎夜下紐解いて肌を許すといふ譯ではなし、座敷許りの勤めなら婦人の道に背いたとも申されません、一つは親方さんへの御恩返し、又一つには數多の客に近付いて話を聞きましたら、其中弟左門の行方手掛りもあらうかと存じます什麼ぞ親方さん妾の心をお察し下さいまして遊女にお使用下さいまし、　四『成程一應は御尤でございますが三浦屋四郎左衛門が慾に陷つて貴女をお世話した、貴女の標緻が美いから稼業物に使用氣で連れて來たと言はれては駒飛の佐吉に申譯がございません、什麼ぞ之ばかりはお考へ直し下さるやう』といつて什麼しても肯入ません、三浦屋の妻女も強てと止める、併しお雪も外に考へがあるといふのは遊女になつたら其中に宮本に逢ふ事が出來ると考へましたからで、何といつても肯かず、遊女にして呉れと迫る、據ないから三浦屋四郎左衛門夫婦、其れぢやアといふので其年の八月八朔の日からお雪を遊女として名を雲井と名付け、初めて突出しといたしました、所がお雪は前申上げた通り絶世の美人、突出しの日から客は雲霞の棚曳く如くと云ふ有様忽ちの中に廓中第一の全盛と唄はれるやうになりました、何しろ武家の生れ、女一通りの事は何でも出來る茶道盆石俳諧生花茶湯琴三味線、碁將棋雙六或ひは武藝にも秀り小太刀薙刀、弓は家の藝で女ながら六分の弓を引くといふ其上絶世の美人でありますから雲井を揚げなければ吉原へ來た効がない、怨かしくつて話が出來なければ顔だけでも拜んで歸らうといふ客がある、扨祝儀を揮つて御顔を出して、雲井が顔を見せるとお辭儀をして禮を言つて歸る、馬鹿な客もあつたもんで、大した全盛であります、中にも前回申上げた神田鍛冶河岸に住し直神陰流の劍術指南をする一橋如見齋などは一通りの逆上方ではない、毎晩通つて來る、けれども雲井は何れの客にも坐敷は勤めるが決して肌を許さぬ、遊女ではあるが枕席には侍さぬ、中に執拗客があつて口說くと　雲『左樣な猥らな事を仰しやるものではございません、關睢は樂しんで淫せずといふ古語がございます』と聖賢の書を引ひて意見をするから　客『什麼も相濟みません』と客は驚いて歸つて往く

京城南大門通三丁目（日本赤十字病院前）
入院随意　胃腸病院
院主　佐々木香造
電話一六五九番

八月十六日九星
舊七月十八日乙酉
本命九紫南除赤口

▲九紫● 歳計の爲め妨げ有る日新事見合せ西方は吉
▲一白● 條理に悖る事有る日新事手控ゆべし住居の衛生に注意せらるべし
▲二黒● 主張の徹る日旅行入學名聲作業願望婚約等宜し
▲三碧● 優美の日轉居入學等皆進て吉
▲四綠● 上運の日男子は高職に就き女子は吉女子の志願を調へ立身を圖る
▲五黄● 思はぬ幸福を得る日皆進で吉待人來る
▲六白● 家氣の日轉居開業入門名弘探鐵求職婚約定
▲七赤● 先の見へぬ事有る日新事手控ゆべし取引は吉新取引は用心せらるべし
▲八白● 所なき事多き日新事手控ゆ一切の賭事を禁ず大吉日轉居入學命名弘求職建築婚禮鑛山業を開く等萬吉

良職業あり
高尚有利の事業なり今回大に地方支部長を募集す返信料三錢相添へ至急申込るべし直に規定書を送る
東京市芝區愛宕町二丁目十四番地
帝國法律普及會

恐るべき花柳病
驅毒良藥　唯一丸
本舗　中西莊吉

太田胃散
飲過ぎ食過ぎに妙なり
本舗　東京兵藏町　太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に有り

定價表無代進呈
秋播種子
平壤　内田百花園

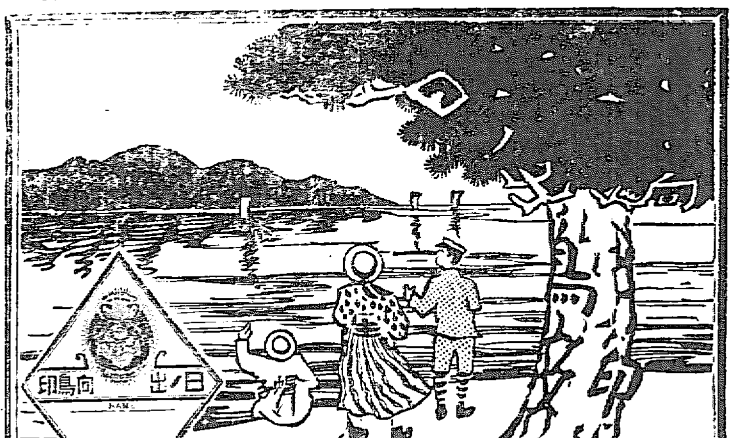
ねびゑ
の苦じさは格別である
ハカリ印のヘブリン丸がねびゑを治する偉効あるは滿天下の實驗に依りて明かである。
各藥店にあり
本舖　樂天堂藥房
大阪田口のヘブリン丸改稱

小兒良藥
樋屋奇應丸
專治
소아의 경풍 감질
토사 설사 경풍 감질
樋屋合資會社
大阪天滿橋

特約牛乳
純粹ヨーグルト
京城泉屋牧場

汗おさへ
には有効なクラブ白粉本店謹製の

香が好くて品質が第一
クラブ天瓜粉
學者の研究で出來た此クラブ天瓜粉は有觸れた品とは違ひ原料が飽くまで精選してありますから汗疹やタダレを防ぎ肌を爽快にする許りでなく香が如何にも爽涼で一味の清風自ら衣襟の間に生ずるの感があります御婦人にも男子方にもお子供衆にも夏は殊に必要な御家庭用品で厶ます



懸賞字さがし
暑中休暇御利用こ　日ノ出向島印學生帽子
平素の御愛顧に酬ゆるの微意を以て、暑中休暇の御慰みの爲め左記規定の下に「懸賞字さがし」を致します何卒學生諸君に限りませぬ、どなたでも奮つて御解答を願ます
■此上の繪の中に何と云ふ字がありますか？

一等　五　個（貯蓄債券）　拾五人
二等　壹圓拾錢　日ノ出向島印學生帽（A印一個）　參拾人
三等　八拾五錢（B印一個）　五拾人
四等　七拾錢（C印一個）　八拾人
五等　上等白牛皮製帽子（一打）　參百人

日ノ出向島印學生帽子　全國均一價段
A號金壹圓拾錢
B號金八拾五錢
C號金七拾錢
（御購買御注意の上最寄帽子洋品店にて御求め願升）

▲解答　用紙は郵便ハガキの事
▲注意　此廣告を御覽の新聞名及應募者の住所氏名は必ず記入の事
▲宛名　東京市日本橋區馬喰町吉安商店「懸賞係」宛
▲締切　大正五年八月三十一日
▲抽籤　同九月十日東京日刊新聞社及通信社の立會を乞ひ當選を定む
▲發表　抽籤後十日以内の本紙上（但四等まで）賞品は同時に送ります

製造發賣元　東京　吉安商店

京城日報　第三版

十五日朝刊（夕刊と合せて八頁）

定價　一部金三錢　一ヶ月金六十五錢
發行所　京城日報社　京城太平通一丁目
印刷人　小川三之介

大阪正米　大阪期米　仁川米豆取引所

伊墺戰況

京城日報

露軍が東部戰場に於て連勝し、英佛軍が、西部戰場にて、鼓頭しつゝある時に於て、伊軍亦伊墺戰場にて大に有利の地歩を占めつゝあるは、聯合軍が全戰場に於て、著々戰況の有利に進捗しつゝある事を示すに足るべし。

抑も伊太利軍は、五月中旬以來、墺軍の攻擊に一敗してより、漸次トレンチノ正面より、撤退の止むなきに至り、墺軍は、勝に乘じて追擊し、將にアシアゴ平原に、殺到せんとするの概ありて、危機頗る切迫せしやの觀ありたり。然れども伊軍はイソンゾ河方面より、大部の應援兵を得て、漸く墺軍を挽止するを得、暫時の防禦を策ふして、徐に機の到るを俟てり。時哉六月上旬、東部戰場に於ける露軍は、連戰破竹の勢を以て、各所に獨墺軍を大破し、墺軍戰線に一大破綻を生じたるが爲に、墺軍はイソンゾ方面より、約二個師團をトレンチノ方面より、約三個師團を割きて、東部戰場に、輸送するの已を得ざるに至れり。此の時に於て、伊軍は、機の乘ず可しとなし、直ちに攻勢に轉じ、六月中旬、トレンチノの正面、殊にアヂジエ河より、ブレンダ河に亙る戰線に、一大攻勢を取るに至れり。爾來伊軍は、最も困難なる山地戰に連勝し、遂次墺軍を驅逐し、諸要塞を奪還すると共に、山地の諸要地を攻略し、勢に乘じて、既に墺軍の爲に、侵略せられたる地域の、大半を奪還するに至れり。されば墺軍は、遂に東部戰場に分遣すべき兵團を、再び途中より、招還せざる可からざるの窮狀を呈せり。斯くトレンチノ方面に於ける伊軍が、刻々有利の戰況にあると共に、イソンゾ河方面、トルミノより、アドリアチツク海に達する、二十五里の墺軍正面戰線に對しても、新規の攻勢を執り、本月一日以來、猛烈なる準備砲擊を行ひつゝありしが、六日に至り、俄然大々的の歩兵突擊を敢行して、堅塞ゴリツツに肉迫し、遂に七日を以て同城塞をも占領せり。五月初旬墺軍が、トレンチノ正面を攻擊したるは、即ちイソンゾ方面の伊軍を、西方に牽制して以て、伊太利の宿望たる、ゴリツツ城塞及び、トリエスト軍港を略するの計畫を、防遏せんとするの作戰たりしは、既に明瞭なりしが、今や伊軍は其の目的を達し、ゴリツツを占領するに至りたれば、之れ墺軍の作戰を、根底より破碎し去りたるものと云ふ可し。ゴリツツ要塞は、コーストランド及カルニオラ州に出づるの、關門たるのみならず、之を占領したる伊軍は、アドリアチツク海の艦隊と協同して、直にトリエスト軍港を攻擊し得べき、有利にあれば、伊軍今後の活動は刮目して大に待つ可きものあるべく、且つ伊軍は、今や總軍百萬を以て策せられ、墺軍より約一倍半の優勢を以てす。其健鬪や察すべき也

國境の經濟（八）

五、沿江寄船地 3

●滿浦鎭● 高山鎭より六里江界邑より十二里を距たり江流に接したる山谷の中腹にあり戸數四十餘戸、東山の谷地を流るゝ小河の西に向ひ鴨綠江に注ぐ場所を滿浦江と云ふ。此地は江界郡文玉、時下、時上、吏西、外貴、從西、從南各面の物資吞吐口である。地方金融組合の所在地である。

●高山鎭● 渭原より上流七里滿浦より下流六里の地點に位し、營林廠の木材集留所となれる故木材流下の際は殷盛を呈するも滿浦に比する時は商[illegible]

籠纜にて運搬に不便なること、附近に農産物の豐穰ならざること等の點より物資の出入少なく經濟上の價値は少ない土地である。鮮人戸數八十戸内地人二十餘戸あれど特に記す程の者はない。

●帽兒山● 中江鎭の對岸に當り臨江縣衙門の所在地にて、鴨綠江上流域に於ける唯一の物資集散地である。此地は臨江縣各地の外、長白府及び撫松縣、朝鮮側にては慈城、厚昌郡一帶、一流は通溝、外岔口、通化、懷仁縣を商業範圍とし、貨物の往來頗る繁榮の地である。住民は約二百五十戸、其過半は商賈で豪商が多い。五萬斤輸入品は冬期に在りては奉天府通溝、道所四商所ありて年額約四萬地方より通化を經て入り比較的安價である。農産物は大豆、玉蜀黍、小豆、高粱、蕎麥等にして其他の穀類は地方の需要に不足し殊に米は對岸慈城郡江界郡より輸入する狀況である。

●中江鎭● 慈城郡にあり、對岸支那地帽兒山の下流一里帽兒模と相對す。戸數四五百戸、内地人六十四戸、鮮[illegible]。憲兵分隊、郵便局等があり、夏季は内地人從來夫が溯江し來り、數四百餘名に達す。市街は江に面し、一里餘に亙る水田を背にして居る。交通機關としては夏季は内地人所有の高瀬船を以て安東縣中江間を上下し、貨物の移出入旅客の輸送をなすも、内鮮人共支那戎克又は朝鮮船を利用し、貨物の輸出入をなすものもある。下流の内鮮商人も此地まで舟運を試みるものがなき故、帽兒山より[illegible]供給する能はずして[illegible]。之等の貨物は冬季に至つては江界、[illegible]より馬便によつて運搬す。輸出品の主要なるものを大豆、粟、高粱、黍等として一萬七千[illegible]に及ぶ。

●沙光子● 滿浦の下流に當り通化附近の呑吐口にて、商賈軒を並べて相當に繁昌の地である。河岸には三十石積以下の戎克常に數十隻繫留せられ、懷仁に集散する貨物は此地に積卸さるゝ故、懷仁に往復する馬車數十臺ありて常に往來し商勢は懷仁を凌ぐ。[illegible]萬石と稱せらるゝ。（此項畢）

露國に於ける米の需用（二）

徹浚

米と落花生の荷が著いたと云ふ廣告札を江々に張り附けた處が其日から續々買ひに來る中には五里も六里もある所から馬車を引て買ひに來るものがある此等は何れも二布若しくは三布（一布は四貫三百六十目）位は買つて行く又たギリヤークやトングースと云ふ土人が貂皮や栗鼠皮を持つて來て米と交換して呉れと云ふ次第で忽ちに賣盡くした。而して五里も六里もある所から買ひに來る農夫達の多くは鹽はないかと尋ねる茲に於て鹽の需用の多い事も判つたので今度は米と鹽とを前の通りの帆船に積で輸入することにした、所が鹽も瞬くに賣れる日本鹽は一時此界隈を風靡して露國の山鹽を壓倒した姿であつた斯樣に米の需用はある、此例は只一部邊陬の土地の事に過ぎないが露人の米を需用する一班を卜するに足ると思ふ。固より露人に黑麪麭を止めさせて米食者とすることは到底不可能であるが一日の一食を米に代へさすると云ふ事は全く望みのない事ではない露人をして米食を多くなさしむるには前にも述べたる如くに廉價にして供給の便を闢るとが最も肝要である。

供給の便を圖ると云ふことは米の販賣を邊陬の地方に行渡らしむる事である、今日に於ては重なる市町では雜貨店で米を賣つて居るが其小賣値段が甚だ高過ぎる故に需用が少ない何とかして安く賣らせる方法にしなければ澤山の需用は起つて來ない、又た邊鄙の地方では米を賣つて居る店が滅多にない、故に澤山の需用を起さうとすれば邊鄙の地方にも米を賣らしむる方法を講せねばならぬ、先年獨逸商クンスト、イ、アリベルス商會は日本米を輸入して廣く販賣するの計畫を立てた事があるが運搬機關の不備なる爲に思はしくなかつた樣であるが近時は運搬機關も備つて來たから行り樣に依つては隨分行くであらうと思ふ、何れにしても運賃を少くして安く賣ると云ふ事が肝要の問題である其れには朝鮮米は最も好地位を占めて居る此點に於て朝鮮米は優に印度米や西貢米と競爭して勝つことが出來ると思ふ朝鮮からならば汽船でなくとも帆船でも和船でも送ることが出來る而して其陸揚場所は浦鹽港だけではない、ヲリガ灣、インペラートルスキーガーワン、ニ、テガストルニコライスク等にも揚げる樣にしたならば、邊陬地方に分布するに都合がよい、斯くするには其地方に販賣店を設くるか、或は其地方の確實なる商店と特約するかしなければならぬ

賽馬集より

張生

[illegible]

京日詩壇

銷夏雜詠十五首　末田芳洲

[illegible]

日報俳壇

蝶子選

夏　雜

幼兒入院

麻醉より醒めて泣く子や芥子赤し　浦南
手術日の腹に物たち芥子の花　同
熱ひけば歩きたき子に水中花　同
祖母遠く看護に來し蚊遣哉　同
衣更（車上の人となる日哉）　同

退院

賑はしく枕並べて明易き　同

京日案內

普通（一回前金二十錢一行字詰）
番外（一回前金六十錢一行字詰）

▲不動價合 [illegible]

十四日の十月 [illegible]

女中入用　四拾歳迄清潔の心得ある者本人來談に限る　黃金町三丁目 電話二九四九番　山田藥店 45

周易 相觀　見料隨意 試てみ評 せられよ必らず中る法螺でなし　永樂町一ノ九番地　均陵庵 33

外交員募集　希望のものは履歷携帶本人來談あれ　永樂町二丁目六十番地 德田高二　商品陳列館通阪中途　日華生命保險總代理店 電話二三二五番 44

內科 小兒科 婦人科 花柳科　京城櫻井町二丁目　筑紫醫院 587 大正館南半丁

運轉手　自動車　[illegible]

小玉呑象先生易斷　故高島呑象翁高弟小玉呑象先生露國行之途次當地有志の請を容れ十八日迄巴城館に於て一般の需に應じ占筮せらるゝに付茲に御紹介申上候　大正五年八月十三日　紹介人　吉田秀次郎　高野省三　村田俊彥　水越理庸

ゴム外套地　●防水布雨着　其他雨具一式　見本附定價表無代進呈　東京市京橋區南槇町　福田豐三郎商店

夜間職を求む　身元確實保證人あり　京日簿記の心得あり　（姓名在社）47

醫師一名招聘　內科　年齡卅歳以上委細面談　（姓名在社）40

京春間自働車　京春自働車商會　[illegible]

廣橋自働車　京城春川間往復 [illegible]　營業主務 金正淵 592

十周年記念品呈進　開業　龍山元町二丁目 電話三三七番　三重金物店 38

恩給年金立替月利壹歩貳厘五毛 無保險迅速融通　京城武橋町二三番地　北方日報社　國江商會 570

恩給年金分立替月利 [illegible]　京城府若草町六番地　西村商會 553

鑛山經營 重石買入　京城鍾路二の九九 電話一八九九番　金石商會 560　▲鑛物分析並に鑛山調查製圖▼

株　有利にして確實なる現株賣物あり　公債株式現物問屋　京城本町二丁目 電話九九三　田中友吉商店 579

勸業債券 貯蓄債券 高價買受致します　地方は御送附あれば直代金差上ます　京城長谷川町五八（朝鮮銀行橫）日本勸業銀行債券月賦販賣所 41

讓店　櫻井町目拔の場所、日用雜貨、果物店、今回內地引揚に付き居拔の儘讓る（姓名在社）42

空袋引換改正廣告

來る十六日より實行

從來の引換方法を停止し來る十六日より左の通り改正致候間精々御持參願上候

◆敷島　空袋二十枚に付　賣物壹包 抽籤券付
◆しらさぎ　空袋二十枚に付　賣物壹包
◆百圓票　空袋二十枚に付　賣物壹包

東亞煙草株式會社
朝鮮總販賣所

◎朝鮮離宮建設内定

最初一箇所丈建設

寺内總督兒玉總務局長は十四日午前十時三十分頃相前後して宮内省に出頭し波多野宮相石原次官と會見朝鮮離宮新設の件に就き種々協議し正午退出したるが右離宮候補地は既に石原次官渡鮮の際京城に二箇所(記者曰く一箇所は或は平壤か)龍山に一箇所候補地を選定したるが宮内省にては二箇所に建設する豫定にて豫算其他の都合上先づ最初一箇所だけ建設する事に内定し其の後更に一個所を新設するに至るべしと(東京特電)

◎軍人干渉禁止建議

評議會開會と共に軍人の政治に干渉する風習再燃せる爲め[illegible]驤は議員十三名の連署を得て議會に對し議會より政府に請ひ法律を以て武人の干渉を禁止せしむべしとの建議案を提出せり(北京特電)

◎聯軍西部戰線牽制

西部戰線は聯軍行動の中心點

露軍が着々成功を收めて伸展しつゝある一方に佛英軍は西部戰線に集中したる二十二個師團の獨軍を牽制し而も其の中應援の爲め一個師團をすら東部戰線に轉送するを得ざらしめたるが要するに西部戰線は聯合軍々事行動の中心點にして一方獨軍の優秀なる防禦工事最多數の密集部隊及び最も精鋭なる兵士は此の西部戰線に在りされば迅速なる勝利は此の方面に期待せられずされど不斷の進出は止む事なし(巴里電報)

◎砲撃熾烈

維塞東方に於て

巴里來電に曰くヴェルダンの東方に於て烈しき砲撃行はれ居れり(倫敦電報)

◎都市占領

露都來電に曰く露軍はスタニスラウの西南方二十哩なる重要都市ナドウォルナを占領したり(倫敦電報)

◎陸軍進級改正公布

去る九日の閣議を經たる陸軍武官進級改正の件は十二日大隈首相日光行在所に伺候御裁可を仰ぎたる結果十四日勅令第百九十九號を以て公布十五日より施行の旨發表せられたり(東京特電)

◎進級令と異動

既電の如く陸軍進級令改正は十四日の官報を以て發表せられたるが今般の進級は右進級令に基き施行せらるに付將官以下の大異動近く發表あるべしと(東京特電)

◎首相國府津行

十二日日光に赴きし大隈首相は夫人家族同伴十五日午後零時二十五分日光發列車にて歸京十六日定例閣議を終り國府津の別邸に至り數日間避暑する由(東京特電)

◎二年目に正體

…許りの[illegible]な英國紳士、好い腕を[illegible]飛疑の獄に包まれて秘密を保つてゐ[illegible]した難を三週間の短期で成島になし[illegible]新發明、資金は三百萬圓とあるから[illegible]て嚢に布哇に支店設備の計畫を立て[illegible]地に派遣し直ちに建設の準備に着手[illegible]職秋本安市(三)は八月三日大同江鐵[illegible]

◎訪露議員出發

二十六日露都著の豫定

貴族院露國訪問議員寺島誠一郎伯井上匡四郎子東郷安男桑田熊藏氏田島竹之助氏等の一行は豫定の如く十四日午前九時東京驛發列車にて出發せるが同驛には徳川、黑田正副議長以下院議員文武官華族實業家等數百名の見送りあり一行は十五日午後三時敦賀出帆の鳳山丸に便乘し十七日午前浦鹽港著同夜同地發二十六日露都著の豫定なり(東京特電)

◎練習艦隊著期

海軍練習艦隊は來る廿二日朝午前九時横須賀入港の旨其筋へ電報ありたり(東京特電)

◎七月大連財況

大連七月中に於ける財況に付或る筋の調査を聞くに特産物輸送の不味なるに反し南支那乃ち上海廈門汕頭等へ輸出せらるゝものゝ其後續出せるが如斯南支向輸出が多額に上るは近年稀れに見る所に屬す斯く南支那向き輸出の行はれし結果久しく埠頭構内に堆積せる特産物も一掃に近づき月末には大豆一萬六千噸豆粕僅に五千噸乃ち約十六萬枚の大減少を示せり尚ほ一二大商人の手による歐洲向き豆油は聊さか輸出界の平調を破り多少此の方面の資金移動を見たるも一般金融界は依然緩漫の状況を持續しつゝあり一方輸入方面は奥地不穩の状況にある事とさなきだに夏枯期節なる爲め之れ亦殆んど休止の状態にあるもの丶如し、倫敦銀塊相場は月入り三十一片にして其後三十片を上下しつゝありしが月末には三十片四分の一を現はし印度筋の買等出でたるやにて今後幾分強含みの状態に推移するもの丶如し從つて大連銀相場は月初九十八圓七十五錢を唱へ其後九十五圓を上下しつゝありしが月末には九十六圓五十錢を示せり

◎本年の蠶業

春蠶秋蠶大增收

本年の春蠶繭實收豫想高は約六萬四千石にして之を昨年の春蠶實收高改良種四萬六千石在來種六千石合計五萬二千石に對比し約一萬二千石増收の見込なるが夏蠶繭は目下其筋に於て掃立枚數其他の調査中なるも大體に於て昨年の實收高三千二百石に比し減收の見込なり而して減收の原因は多々あるも要するに春蠶豐作の後を受けし事とて各地共桑葉の供給不足を告げし結果にて各地共同販賣の成績を綜合するに夏蠶繭は近年稀に見る優良の品質を示し目下總平均一石四十圓乃至四十五圓の間にて取引せられ春蠶繭以上の高値を唱へつゝあるもの尠からず夏蠶の減收に反し秋蠶掃立大激増をなし昨年の秋蠶掃立枚數二萬七千枚に比し昨秋の秋蠶種製造數及び各地の情報より推し本年は四萬枚以上の掃立を見るも是れ本年は春季以來繭糸高價なりしのみならず降雨量多く從つて桑葉の伸長良好にて昨今の經過は時々降雨あるも一般に氣溫低きを以て例年の如き暑熱を受けざる爲め桑葉の發育意外に良好且つ蠶種の發育好く一般農民が秋蠶の有望なるを自覺するに至れる結果に外ならずと

◎輸移出入煙草

六月中に於ける鮮内製造煙草の輸移出高は口付紙卷煙草四百三十七萬七千本、兩切紙卷煙草一千九百七十二萬二千本、刻煙草四百八貫、此の賣上價額五萬二十八圓餘にして一月以降の累計は口付二千三百八十六萬八千本、兩切九千四百九萬五千本、刻五百十六貫、此の價額總計二十一萬一千百五十二圓餘を算し之を前年同季に比すれば數量に於ては紙卷煙草に若干の減少を示せるも刻煙草に多大の増加を見たる結果其の價額は一萬六千百四十三圓餘の増加を告げたり

▲輸移入煙草 又同月中の製造煙草輸移入額は口付紙卷煙草五萬七千本、兩切紙卷煙草四十九萬六千本、葉卷煙草三萬四千本、刻煙草四十四貫、此の價額合計九千八百七十二圓餘にして一月以降の累計は口付十七萬四千本、兩切二百九十五萬本、葉卷十七萬四千本、刻九百六十七貫價額總計五萬九千六百九十七圓餘にして之れを同季期間の輸移出額二十一萬餘圓に比すれば三分一に滿たず而かも其の出超額は日を追ふて増加の傾向に在り

◎叺繩類移入減

鮮内に於ける生産激増

叺、繩、莚の製造は農家の副業として極めて恰好の事業なるより各地に於ては製造傳習會を開設して其の製造方法を傳習し或は生産販賣組合を組織して製品の販路を圓滑ならしむる等具に指導誘掖に努めたる結果其の製造高は逐年激増を示し最近一箇年間に於ける製造高は改良叺三百六十四萬四千五百四十四枚、在來叺六百四十四萬九千九百九十六枚、改良莚七十萬二千九百四十二枚、在來莚百七十一萬五千四百二十九枚、繩一億四百四萬五千四百十九斤に達し之を其の前一箇年間の製造高に比すれば改良叺十八割三歩、改良莚二十四割六歩、在來莚五割五歩の激増を示せり而して此總製造高中改良叺八割六歩、改良莚三割七歩、在來叺七歩、在來莚六歩、繩一割二歩は總て之れを販賣に附したるものにして其の價額總計六十萬圓に垂んとし農家の副業として將來益々有望なるを證せり、然れども米穀檢査の實施、調製改良の奬勵等に伴ひ包裝用繩叺の需用は著しく増加を來し鮮内現下の生産高は未だ以て其の需用を充たすに足らず昨年に於ても其の輸移入額は尚ほ叺七百二十一萬枚、繩九百萬斤の多きに達し叺の如きは鮮内生産額の二倍に垂らむとするの状況に在り、されば斯の如き多額の移入品を全部驅逐するは容易の業にあらざること勿論なるが如きも南鮮各道にては昨秋以來斯業頓に勃興し繩叺生産販賣組合の設立せらるゝもの極めて多く、製品の精選と相俟つて販賣機關を整備し、漸次販路を擴張しつゝあるを以て移入額の激減を見ること敢て遠き將來にあらざる可し

◎度量衡普及高

六月中に於ける度量衡器の普及高は度量一萬二千四百十四個、衡器二千四百九個、量器六千七百四十七個、合計二萬一千五百七十個にして別に總督府の直接販賣に關るもの三百九十五個あり此の總價格九千八百八十三圓五十餘錢を算し又た一月以降の累計は度量衡器一切を合し二十四萬五千九百六十六個にして此價額八萬五千二百五圓四十餘錢となれり

◎甲山銅山施設

久原鑛業にてコールブラン氏より買收せし甲山銅山は其後久原技師等多數赴任し切りに諸種の計畫を進むると共に一方内地より廻送中なる精錬用諸機械も新浦及び城津經由の二路を通り車馬にて陸續到着しつゝあれば豫定の如く十月より銅の産出を見るに至るべし尚ほ右精錬所完成迄は原鑛にては鑛石を山路惠山鎭に出し鴨綠江を下して鎭南浦製錬所へ仕向くべき企圖の下に水流路線等を取調べしも鑛石を積載しては早瀬を有せる鴨江流下に危險を感ずるに付此方面へ運搬は沙汰止みとなりし模様也

◎外電發著増加

當局の調査に係る大正四年度中に於ける朝鮮内各地と外國間發著有料電報通信は總數九千二百十八通にして之れを前年度に比すれば一千五百七十四通即ち約二割の増加を示せり而して兩者を對照して移動の著しきものを舉ぐれば獨逸は百四十一通減にて全然其の取扱なかりしと香港の百六十四通減とを減退の主なるものとし支那は一千四百十一通露西亞は九十六通北米合衆國は九十三通の何れも増加を見たり此の現象は歐洲戰亂の結果獨逸に對しては全然通信の途なかりしに反し交戰國の軍需品貿易支那の通商貿易は何れも著しき増進を示せると共に彼の上海に於ける和文電報取扱の開始も亦其の一因たるを失はず

◎在監囚徒減少

七月末に於ける朝鮮各監獄在監囚徒の數を聞くに受刑者内地人男八百十六人朝鮮人八千八百二十五人支那人百八十三人合計九千八百二十五人刑事被告人内地人百五十一人朝鮮人八百十八人支那人十七人合計九百八十六人勞役場留置者内地人五人朝鮮人三十人支那人七人合計四十二人總計内地人九百七十二人朝鮮人九千百七十三人支那人二百零七人にして全計一萬八百五十二人なるが之れを前月に比すれば總數に於て六十二人を減せりと

◎鮮鐵上旬成績

朝鮮鐵道八月上旬に於ける運輸成績左の如し

	本年七月分	同年同月比較増
乘車人員	一四二、三四四人	一五、八九一人
小手荷物斤數	三二〇、五〇八斤	三六、四〇〇斤
貨物噸數	四二、二九〇噸	一〇、九五五噸
客車收入	一〇八、七一四圓	二一、〇二三圓
貨物收入	一〇八、七八六圓	二三、八四九圓
運輸收入	二一七、五〇〇圓	四四、八七七圓
一日一哩平均	二一圓四六一錢	四圓四四六錢

◎花立師團長檢閲

既報の如く花立第十九師團長は幕僚を隨へ十四日より龍山各部隊の隨時檢閲を行ひ十九日を以て終了の筈

◎經濟研究會

經濟研究會の第二次例會は豫報の如く十四日午後六時より銀行集會所に於て開かれ經濟界に關係ある官民有力者四十餘名出席し七時食堂を開き八時より別室に於て青木商工課長の臺灣視察談次に阪出技師の外遊談あり盛會裡に十時過散會せり

◎全道の學校林

最近調査朝鮮公私立學校學林を聞くに各道を通じ學校數九百七十八校總面積一萬零八百五町二反五畝にして植栽濟み面積三千七百九十九町四反其の本數一千百七十萬本なりと

◎平北の水害

七月下旬の降雨にて平北熙川郡邑内面の受けし作物被害の見積高に付平安北道長官の報告を聞くに煙草棉玉蜀黍粟其他面積合計十五町金額六百二十五圓也

◎鮮銀出張所昇格

朝鮮銀行にては九月一日より釜山木浦群山鎭南浦安東縣長春各出張所を何れも支店に昇格する事に決し其の準備中なるが各出張所長は其の儘支店長となるべし

◎鮮銀券發行週報

八月六日より十二日に至る一週間の朝鮮銀行發行平均高は左の如し

總發行平均高	三〇、一〇八、一九
正貨準備發行高	一〇、三一三、九一八
保證準備發行高	一九、七九四、一〇一

◎大豐社設置許可

京城熊谷小太郎氏より總督府に設立を申請中なりし土木建築工事の請負をなす目的にて合資會社大豐社設置の件を十四日許可さる資本金三萬圓なり

◎黑澤大佐北行

關東都督府附武官黑澤大佐は十三日夜入京十四日朝龍山發奉天へ直行せり

◎有賀第一部長歸京

内地旅行中なりし京畿道第一部長有賀光豐氏は十三日午後九時南大門著歸任

人事消息

▲大内展雄氏(總督府技師) 十四日夜入京尖翁館へ投宿 ▲鐵道技三郎氏(香川第七十九聯隊附中尉) 十四日朝入京同上 ▲鹿川茂太郎氏(三井鑛山社員) 十四日夜入京朝鮮ホテルへ ▲エブテン氏▲タルシャー夫人▲ハンダーソン嬢▲マクリーン氏(以上英人)▲アルムール氏(佛人)▲ヴエルナー氏▲マン氏(以上米人)同上

南吉北語

天氣不定で何うも氣の晴々せぬのはお互樣だ▲斯ふ云ふ時には堅くるしい事は誰も餘り賛成せないのだらうから[illegible]大に[illegible]を利かせて一番大碎けに碎けて出やう▲桐川未亡人静子と云へば知る人も少なからうが例の赤坂の萬龍▲今後は何うするのだらうと云ふ問題が東京の若紳士間では花を咲かせて居る相な▲就中大藏省の若殿樣の方は大したものだと云ふが食堂會議の結果▲在倫敦財務官の森賢吾君に宛て『マンリウアイタ』と打電した▲其の理由は森君が萬龍の小供時代に『此の子は將來必ず名を成すに相違ない』と云つたからだ相なが事實はさうでもないらしい▲其處で友達甲斐に急報してやつたとはお節介千萬な話だ▲先程北海道遊説に出掛た代議士樋口秀雄君函館の一旗亭で藝妓から同僚の綾部惣兵衛君に手紙を頼まれた▲聊か驚いたが兎に角綾部君に渡すと共れが戀文なので綾部君恐悦千萬直に札幌から函館に走せ付けた▲早速其藝妓に面會して一盃やつて居ると隣坐敷でクス〳〵笑ふ者がある▲綾部君不審に思つて鳥渡覗いて見ると思ひきや同僚の平出喜三郎君であつた▲ハテナと思つて手紙を調べて見ると平出君の惡戲と知れ怒るにも怒られずほう〳〵の態で札幌に逃げ歸つたゲナ▲之れは大分の深い茶目だ

◎鄭家屯支那兵の暴狀

邦人を抑留す――我守備兵の死傷

十三日午後七時鄭家屯在留日本人一名支那兵の爲めに毆打され兵營に抑留されたるより領事館附川瀬巡査は早速救護に赴きたるに支那兵は亂暴にも同巡査に銃を擬して抵抗し件の邦人を引き渡さゞるより我が守備隊に應援方を求め松村中尉以下五十名の兵士支那兵營に赴きしところ彼等は土塀に倚り不意に一齊射撃を行ひたるより我が兵は已むなく銃火を開き交戰せしに衆寡敵せず我兵は重圍に陷り多數の死傷者を出せり四平街の我が守備隊にては此の急報に接し大隈中尉一隊を率ゐ十四日拂曉鄭家屯に急行し形勢如何に依りては倘應援隊を派遣する筈なるが事態頗る重大なり倘居留邦人は何れも武裝して警戒しつゝあり(大連特電)

▲張督軍の狼狽

張督軍は十三日午後七時我が守備兵と第二十八師兵と衝突し我が守備隊中死傷者を出せる報に接して大に狼狽し兵を派して我が應援兵を喰ひ止めんとしつゝあり(奉天特電)

◎眼鏡新荷著廣告

米國製 正金張 三種 獨逸凸玉サック付 甲 三圓五十錢 乙 三圓 丙 二圓五十錢

純ニッケル 一種 一圓二十錢

◎地方より御註文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候 但し郵便料に限り送費無料

京城本町一丁目(郵便局前) 中村時計店眼鏡部 電話一一一番 振替口座京城三四六番

今十五日競賣午後一時より總て成行にて放賣す

書畫骨董競賣

京城明治町 京城競賣株式會社

最良毛製屋根葺材料

ラバロイド

見本及定價表御申越次第無代進呈

朝鮮總代理店 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五 二七七番 振替京城二五六番

代理店 釜山南濱町 角野商店 電話一二三番

代理店 元山港 美嶋商店 電話一五九番 振替京城一七二番

◇旗印苛性曹達其他藥品◇

小野田日本舍密製造株式會社製品

右會社製品は當社に於て朝鮮一手販賣權を有し居候ものに有之候處此頃日本舍密會社へ直接御引合御申込ある向有之候へ共凡て御申上候に就ては多少に不拘當社に御引合被下度精々迅速廉價に御用命に應じ可申候

日本舍密製造朝鮮一手販賣 三井物産株式會社

京城支店 仁川出張所 釜山出張所 群山出張所

日韓書房

新版報告

前田晁譯 西洋文藝叢書 陷穽 定價一圓二十錢 送料十二錢

田山花袋著 日本一周 後編 定價一圓二十錢 送料十錢

阪本健一著 英吉利帝國 定價四十五錢 送料八錢

受驗準備 修身法制經濟摘要 定價一圓二十錢 送料十四錢

海賀變哲著 長唄集 定價五十五錢 送料十錢

京城本町二丁目 [illegible]

活版石版凸版寫眞版印刷

各種帳簿類及書籍類製本業

活字販賣紙型及鉛版鑄造業

營業所 京城長谷川町百五番地 電話二〇五番 中田普成社

工場 京城壽松洞四十四番地 中田立三

鮮明にして廉價に且迅速なるは弊社の特色に候御注文の多少に拘はらず御一報次第店員拜趨可仕候

…る會社があるとは丸で探偵小說を讀むやうな話、處は哈爾賓、その一傳家の市外でいふ社長といふは二十…貨幣の贋造か或はそれ以上に戰慄すべき犯罪がこゝから釀し出される、大庭宮が此會社の秘密は二三年間…除かれた、正體が解つた、何の事だ…更に怪しい事業ではない、事業とは養鷄の早熟法であつた、孵卵器で孵…は事實特許事業で年々莫大の巨利を占めてゐるが何しろ面白い科學界の…

浦鹽から（三） 舞踊の一夜

▼音樂に絡まれて▼水色の緞帳▼花乎人乎▼象牙の手▼早瀬の水か▼浮かれ胡蝶

夕方の涼しい風が白樺の並木に渡つて美妙な樂の音が心の奥底のあるものを刺すやうに響いて來ると云ふまでもなくバレットの音樂だ私は刺戟さるゝまゝ誘はるゝまゝ音樂の糸に絡まれて其方へと歩んだ何時しか私はベンチに腰を下して居つた、森の上に落かゝつた夕陽が赤い金色に劇場の窓を照らして居るのに早くも場内は眩ばしいほど電燈が點されて居る私はいろ〳〵の髮の香やお白粉の匂ひに醉つて多數の觀客と一緒に華やかな樂の音につれて兩手の指で膝頭を叩いて居るほどの心持ちに浮れて來た、暫らくすると樂の音はぱつたり止んだ愈々バレットが始まるのだ緊張した觀客の瞳は一齊に舞臺に向つて瞬られた水色の緞帳を張つてバツクにした春の空のやうな

◆舞臺の何處 からかヒラリと現はれた者！それは一夜に咲いた白百合ではなかつた、水をぬけ出た花菖蒲でもなかつた、それはほんとうに、ほんとうに美しい女優の一人であつた、象牙で刻んだやうな小さな手をあげると碧の空に桃色の手巾が舞らめいた、舞臺には又一人の花が生れた斯うして並木の櫻に花が咲いたやうにズラリと並んだ女優の姿は私には譬へる言葉が見付からぬほどの美しいものであつた、樂師の一團は

◆舞臺の正面 の床より低い處に設けてあるオケストラーボクスの中に這入つて居つて樂長だけが一段高く首だけ出して居る樂長の眼は寸分の油斷なく今女優の一列に注いで居る其の呼吸の合つた一刹那樂長の指揮棒が上る同時に朗々として、そして烈しく急な樂の音が響く並木の花のやうな舞姫が一齊に袖を飜へして繚亂として舞ひ始めた樂は烈しく早く低く細く靜に、岩の下ゆく岩水清が何時か早瀨と走つて又淀んで更に流れて

◆咽ぶやうに なだらかに進んでゆく片腕の袖から溢ぼれて美しい肱、踊く裾から玉のやうな足が、ちらめく、觀客は皆な醉つて居る皆春の醉を思つて醉つて終つた、舞ひは無言であるが樂の調らべは和らなる春の夜に月と花との戀語りや浮れ胡蝶の物思ひ拐ては夜の間の一齣を喜怒哀樂の有らん限り感情はみんな樂の一高一低で攪亂されるほどの刺激を受けたそれればかりではない舞臺を見よ舞臺を見よ、白い虹のやうな手

◆絹のやうな 肌——遠くの空に物を思ふやうな彼等の目、これほど人の肉體が藝術化されたのを私は未だ曾て見た事はない、バレットに幾場は過ぎた私は夢の居へ蜜を醉されたやうな思ひの胸を抱いて此の感情を何處へ持つて行處がないやうに立ち竦くんで終つた、千人はかり這入つて居る觀客の美しい血が音を立つて流れて居るのが聞ゆるやうに思はれた、バレットの終つたのは午後十一時少し前だつた。

◆租税滞納のお叱り、胡瓜の持藥 福助、丸子ほんとに腹を立てゝる事

□鄭驛が薩開に驗するが、某日公園の松が梢に掛つて發聲達の顏が眞白みに化つた頃、いや夫れより二三十分の後であつたと云ふのは大抵の鷄數は皆出る處に出て居て置屋に…つて居る手合なごゝなくなつた頃であつたから——。

『富美廼家』と書いた御神燈の灯がユラ〳〵ツとしたと思ふと上框にヌツと突立つた男があつた。夏羽織にしろ袴にしろ立派なものづくめであつたのを一目見て何處の誰方樣かと、折柄唯一人淋しく留守居した女中は其處に蹲まると件の男は呼む樣に大きな眼玉をギヨロりとやつて『オイ、此家に小原クマと云ふ者が居るか？』

□『其座人が？』と鞍名で許り呼び慣れてゐる藝者さんの本名を…

□『へイ』とは言つたものゝ其容子が怎も變ではあり其れに此方の話ではないかも知れないが表の方で忍び笑ひらしい聲もした樣ではあると——其男の歸つた後で女中一人思案に暮れた、正直に其事を福助姐さんに話すと姐さんの

『補口から出た腕ツ節には熊の樣に毛の生ゐた……』と聞いて福助姐さん思ひ當る處あるらしく首肯いて其時は其儘に成つた。

□『話變つて——』へイ今日は』と飛込んで來た若い衆は…

『御留守見舞』と筆太に走り書きした奉書紙の下は盃に裸で可成り大きな胡瓜が一本に惡姑と豆が盛つてあり下に『處方箋』として『姑は常用、胡瓜は特別頓審の時頓服用』としてあつたので『人をツ』と其儘上り框に取つて返した丸子は『あなた誰から頼まれて來たの？』『エ、その誰方か……』と言ひ遁るのを『判らない筈はないでせう』一體何處から？誰れから？』と浮ツかりして居れば喰ひ付きでもされさうな勢ひなので『其麼者では無かつたが……兎に角によつては其の紙に包んだものでも握らして貰へる積りだつたのに……』と心中秘かに外れた當の行方を追ひ作ら浮き腰で豈夫逢へば逃げ出す氣勢を示したが、其處は丸子姐さんだ。怎云ふ秘術を盡したものか彼れ程固く口止めされてたのに若い衆は頼みの主の名を到頭喋らされてしまつた。

□其の手法から樣子から富美廼家一夕の惡戯の搬は丸子通り村田さん行き届だと漢陽公園で腹白鷄の噂の儘。

●布哇に住友銀行

…法を聞いて二度吃驚…住友銀行の布哇…の計畫に…設置することゝなり既に當該官憲の認可を經たるを以て不日主配者を…

●レールを盜む

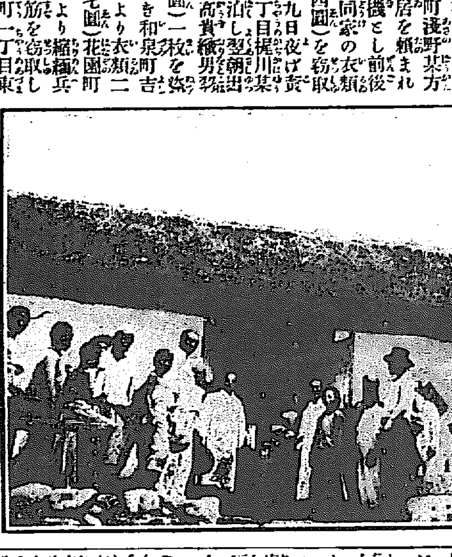
山口縣大島郡生れ當時平壤泉町宇田…一郎方同居大工…込にて取調中なりと

●仁、支那人に及ぶ 慈惠醫院が鴨綠江を越ゑて巡回診療 ―鈴木土地調査局長談―

國境視察の途鴨綠江を渡つて支那對岸輯安縣に行つた時私は外分譴に於ける平北楚山慈惠醫院の巡廻施療を視た、元來輯安縣には支那人以上の鮮人が移住してゐる、乃ち支那人二萬人に對し鮮人は二萬五千人を算してゐる楚山慈惠醫院の支那領巡廻施療は移住鮮人の醫藥の

■助けなき貧者 に文明の餘慶を及ぼさうとするのだが仁術だから支那の病者も其處に救ひを求めて來るならば之れに診察投藥する事を拒ばまんのであつた私の行つたのは二日目の午前十一時頃だつたがそれでも朝鮮人が二十人支那人も同數位來てゐた醫師に聞くと以前は支那人の女や子供は全く顏を見せなかつたが此頃は漸次日本醫に對する信頼を高めたと見へ女も子供も來るやうになつた、現に私は小さい支那家屋の

■診療所に藥を 求むる四五人の女と子供を見た其の中には乳呑兒を抱いた婦人もゐた、如斯醫療の恩惠を支那人に迄及ぼせば輯安縣に於ける支那人は非常に日本官憲を德とし其の結果鮮支人間の融和親睦に貢献する所少なくないやうで私は其處に仁術の仁術たる所以を見る（寫眞は鈴木局長の撮影にかゝる）



輯安縣に於ける診療の實況

●幽靈證書で 五百圓を詐取す

高陽郡崇仁面大水溢里農吳公善（三七）は京城北部陽德坊桂洞金裕成の墓守として高陽郡崇仁面加五里所在の畑三百五十三坪外に四筆合計二千七十八坪餘を耕作し居る中大正二年五月中金裕成より右の土地所有權保存證明手續きをなすべき依頼を受同時に

▲其費用と印章 を預りたるを奇貨とし該土地五筆の證明濟書を裕成に交付せず是れを種に一儲けせんと翌大正三年一月頃京城昌信洞測量師李明夏（三三）禮智洞金貸業崔應淳（三二）昌信洞文石俊（三五）と共謀し文石俊の妹婿朴萬教をして右の土地を擔保として金の借入れ方を奔走せしめたるも右證明濟證に價格金二百圓と記載しあり是れ以上借入るべき望みなきより文石俊が金裕成より價格金一千圓にて買ひ受けたる如く金裕成の

▲印章を利用 して賣買證明申請書、賣渡證書の二通を僞造し京城府廳及び高陽郡廳の兩廳に提出して手續きを濟まし文石俊を借主として京城竹添町二丁目木村健太郎より金五百圓を借用し各分配したること發覺し何れも其筋に檢擧せられ京城地方法院の公判に附せられ吳公善は懲役一年、李明夏は十箇月、崔應淳は八箇月、文石俊は同六箇月の處分となれり

●附馬舌を捲く 文無し大盡の早業

高知縣吾川郡諸木村生れの杉崎繁（三二）は前科一犯あり本年三月二十三日京城若草町請負業高村某より現金二十圓を騙取したるを手初めに六月中笠井町淺野某方の留守居を頼まれしを好機とし前後二回に同家の衣類二點（四圓）を窃取し七月九日夜黃金町二丁目梶川某方に一泊し翌朝出立の際高貴織男物（十圓）一枚を窃み引續き和泉町吉村某方より衣類二點（十七圓）花園町佐藤方より縮緬兵兒帶一筋を窃取して櫻井町一丁目東質屋に入質し七月二十九日には新町遊廓日耀樓に登樓し豪遊を試みたるも所持金無きため附馬を連れて櫻井町二丁目白石方に至り同人より自轉車一臺（三十一圓）を詐取し入質して遊興費を支拂ひたる其早業に附馬も舌を捲きたり八月一日夜は大和新地太平樓に登樓し遊興したるも是れ亦無一物と判明し以上約九十圓の詐欺窃盜等を働きたるため此程本町署に引渡され取調べの上檢事局へ送らる

●長崎の虎疫 益々猖獗なり

可恐勢を以て猖獗を逞ふしつゝある長崎市に於ける虎列拉病は十三日迄の患者統計實に百卅四名の多きに上り十三日の新患者二十名を算するに至る而して同縣下を通じ初發以來今日迄百九名の患者あり內死亡四十八名眞正患者七十二名あり（長崎）

●兩腕を斷たる

熊本縣天草郡棚底村當時大連老虎灘漁業魚本德一（三二）は去る十日正午頃老虎灘南方約八哩の沖合に出漁中ダイナマイトを海中に投ぜんとする刹那如何なる機にや突然爆發し兩腕を切斷されたるより同乘の漁夫等は大に驚き其まゝ老虎灘に引き揚げ直ちに大連醫院へ舁ぎ込み治療中なるが生命危篤なりと（大連）

◇廣告戰はこゝ迄（4）

□其他通信販賣 頗る奇拔な行列廣告、又は現品廣告等種々あるが、之等は販賣術と兩々相待つて初めて効果を奏するものであるから廣告方法其ものよりも一に各人の手腕次第に依る點である次には自分の營業所の周圍乃至は一定の範圍内の客より外に吸集する事の出來ない營業の廣告術に就て一二述べて見る

□此の種に屬する營業とは浴場、劇場、寄席、芝居、料理、其の他の興行物などであつて此に吸集し得べき客の範圍が狹少なるのみならず期間も短いから廣告費もあまり多くを費す事が出來ない朝鮮では主として廣告刷札の配布又は樂隊を先頭にした幟の行列等をやつて居るが

□內地では近來頗る奇拔なのがある即も甞める樣な深紅な長いマントに同じ色の高いシルクハツト型の帽子を被りそしてマントにも帽子にも純白又は黃色で京城で云ふなら大正館とか浪花館とか云ふ館名や或は演藝の題名又は優良なフイルム等を染め出して日中と言はず夜間と云はず苟も人の出る處人の目に付き易い場所ならばノソリ〳〵と五六人乃至十數人位打連れて歩き廻る

□或は花やかに廣告を書た大きな行燈を背中一杯に背負ふて象の鳴く樣なラツパを吹いてのさくると之に出會はした人達は皆奇異の眼を見張つて之に迎へ之を送るそこで廣告の目的は充分に達せらるゝ事になるのである。

□數へ來り數へ去れば廣告術の種類方法はなか〳〵盡きないが要は唯廣告術の巧拙如何に依つて効果を生ずるものであつて最近商戰場裡の勝敗は其巧拙に依つて決せらるものといふ事が出來る

□今回京城では…を許したが誠に機宜に適した處置で市街の美觀を保つ上にも効果は少くない事と信ずる。

□最後に一言したいのは廣告の價値の認めらるゝに從つて之を利用する惡漢の增加した事である其の手段は中々巧妙を極め或は人の弱點とか好奇心とかにつけ入り又は對手方が詐僞であつた事を知つても之を公にする事を憚る樣な種類のものであつて、新聞紙に此種の犯罪事實を見かける事が少なくない（終）

●鍬で毆る

京城觀水洞居住鹿兒島縣姶良郡蒲村生れの厚地文雄（三二）は隣家に居住せる金召史が常に厚地方の前に汚水を棄てるより度々注意を與へしも一向に肯入れず七月十日午後六時頃金召史の長女某（一二）が溜水に蓋ひある板を取外したるより毎度のことゝて厚地も癪に觸り同女を毆りつけたるに母の金召史が跳り出で摑み蒐りたるより有合せたる朝鮮鍬にて召史の腰部を毆打し治療約一箇月を要する創傷を負はしめ厚地は此程京城地方法院にて罰金二十圓に處分さる

●車夫に化けた賊

京城北米倉町生れの金順基（二二）は四月十八日夜太平町二丁目飲食店馬渡某方の表硝子を外して手を差入れ內より掛金を外して侵入し金庫形に作りたる卷煙草箱を窃取し屋外に持出して調べたるに金庫にあらざるより再度侵入したる際發見せられ一目散に逃走したるも黃金町一丁目の四つ角にて追跡せる馬渡に取押へられ兩名組打を初めたるが馬渡の隙を見て帽子、上衣等を脱ぎ棄て逃亡し其後龍山驛前の俥帳場太陽組に俥子をなし居れる內發見されて取押へられ此程京城地方法院にて笞九十となれり

●恥を知らぬ男

京城吉村洞崔在得（三五）は七月三十一日夜隣家なる韓興圭夫妻が外出不在中同人娘韓姓女（一七）が獨にて熟睡し居るを見て俄かに淺ましき心を起して寢室に侵入したれば同女は驚きて逃げまどひ內父母が歸宅して其筋に訴へたるより在得は鍾路署に引致されたり

●不正講の豫審

本年五月初め端無く內部の不正行爲暴露して東彦四郎外連累者數名釜山地方法院檢事局の令狀に據り釜山監獄に收監されたる所謂不正講事件の豫審は數月に互りて取調べを進め漸く昨今終結に近づきし模樣なれば終結の發表と共に公判の期日も決定すべしと（釜山）

●荷車泥棒

平壤南大門外生れの金永贊（二三）は窃盜前科二犯あり七月二十七日京城明治町二丁目某雜貨屋の店員松本某が荷車に白米一斗を積み永樂町二丁目の路上に置きて他用中荷車諸共曳きて逃走中を松本に取押へられ本町署に突出され京城地方法院にて懲役二年の處分となる

●雇人は曲者

京城永樂町生れ前科一犯金有告（三七）は太平通二丁目禹敬植方に雇はれ中七月二十七日夜投宿したる忠南忠州邑內金正鎭が外出に際し現金三圓九十錢及び銀指環二個入れある財布一個を託したるを横領し酒色に消費して御繩頂戴

●簞笥から

平南順川郡々內面邊洞牛馬仲買業李昌傳方へ去る一日夜賊忍び入り簞笥に藏し置きたる紙幣銀貨取交せ八十八圓並に朝鮮式銀指輪二個を盜み去れりと

盛夏時季の腦神經病者

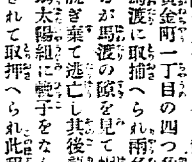
▲夏を樂に過すには？ ▲腦の働を增すには？ ▲飲酒家の安心には？

諸君は睡たくは在りませんか、懈くは有ませんか、寢苦しくは有りませんか……は有ませんか？

頭痛、健忘、逆上、昏眩、精神の不活潑、食慾不進等の事はありませんか。朝起きても矢張頭腦や氣分が呆然して疲れを感ずる事は有りませんか。腦や神經の疲れる今の盛暑の際を腦神經に受けたのですから、決して…終はないと、意外な苦痛に陷る事があります。斯ういふ徵候があるなら直く島村醫學博士有効證明の腦神經藥で、此種のものでは第一の信用ある健腦丸を用ゆる事を薦めます。實際これ程よく効く藥は無いのです。

■病者は斯くせよ 所で今述べた徵候が大分進んでゐる人即ち腦神經衰弱になつてゐる人は普通の人でさへ冒され易い盛夏時分には、一層の養生が心要な事は勿論で、先づ日常の起居に注意して假へば夏は兎角夜を更し易いものであるが然ういつた事の斷然無い樣にし、飲食運動凡て時を定めて適宜にし、藥には健腦丸を用ひて行く、勿論此種の病は長びくのが常で、其爲め隨分悲觀に陷る人もありますが、きつと治る、と斯う心を確固と安らかに持つて健腦丸に信頼するのが宜しい。健腦丸は何の藥に比べても、効の見はる事が速いのが特長で、これは一度試した人の知つてゐる事であります。

■酒を好む人と盛夏 酒を好む人は暑いからといつて中々酒を止めぬ、併し酒の害は盛夏に於て彌々甚しいもので、恐しい腦卒中や腦充血等が起り易いのであるから、大酒家は殊に用心して健腦丸を持藥にすべきです。其故は、健腦丸は逆上を引下げ腦の營養となり、通じを快くする等の成分あり此種の怖い病を豫防する力を有つてゐるからです。現に飲酒家や愛煙家の人々で斯うして其害を遁れてゐる人は非常に多く、其人達は頭が惡くならぬのみか、益々腦力を養つて活動を樂しんでゐます。健腦丸の發賣元は信用厚き藥舖大阪心齋橋丹平商會で、設備の完全で有名な同商會製藥場で專門の技師藥學者達の製造ですから安心なものです。藥價は四回分二十錢から十週分五圓迄種々あつて日本內地は勿論海外藥店でも販賣してゐます。腦神經の惡いと思つた人氣分の優れぬ人はこの暑の時分に打捨て置くと猶更不可ぬ、速に一週分をお試しあれ。必ず効驗が見ゑます。



最新流行 メニスカス眼鏡レンズは眼球の回轉したる場合普通玉の如く物像に差違を生ぜざるが本レンズの特長なり

近眼 甲二圓五十錢 乙一圓五十錢 平眼 甲六圓玉……三

京城黃金町二丁目 眼鏡專門 卸小賣 宮川大學堂

新刊書御案內

朝鮮と金鑛 ／ 商親 ／ 強い身體を造る法 ／ 農家經營の實際 ／ 朝顏栽培秘訣法 ／ 修身教育法制經要 ／ 作文軌範（全） ／ 會話譯文速成 ／ 法律講義 ／ 法律問答 ／ 朝鮮總督巡査受驗提要 ／ 鐵道旅行案內 ／ 最新日本世界見物 ／ 朝鮮鐵道旅行案內 ／ 帝國漫遊案內 ／ 世間 ／ たれにも出來るお菓子の拵方 ／ 新式園芸實驗

大阪屋號書店

小資本にて金儲け 大澤商會

嶋屋特製 みやま味噌 製造販賣元 嶋屋本店 電話二三三〇番

期日正確送料無料 京城本町二 正氣堂名刺舖 電話二一九五番 振替京城一二八三番

女鳩

渡邊默禪

「七五」その翌日

假裝會は先づもつて大成功だつた。ぐたぐたに疲れ切つた體を寢床に投げたなりに、ぐつすりと寢込んだ秀子は、翌る日の午前に裝飾屋がやつて來て、女中と一緒にそちこちの飾附を取外すべく、ばたばたと物音を立てる時分になつても、何にも知らずに甘い夢を貪つてゐた。頓て午餐の香月のお縫さんだの、濱田の若奥さんだのがやつて來てから、お小間のお孝に搖起されてやつとお目覺。朝から沸いてゐたお風呂に召す頃は最う午後の二時を過ぎてゐた。

「ほんとに上出來でしたわ。私しなんか夢でも見てゐるやうに恍惚させられつちまひましたのよ。始終やりつけてゐる舞踏家だつて、なかなか彼樣はいきません。貴孃は實際天才よ。」

「何うですとも。秀子さまは天品から最うすつかり藝術家にできてゐらつしやるんですわ。貴孃御存知ないでせう、昨日帝劇の女優が二三人來てゐたのを……お蝶さんの紹介ですつてさ。」

「あら、何う、知らなかつたわ。」

「それが大層感心して見てゐたんですつて。私どもには迚も眞似ができないつて、ひどく恐れ入つちまつたんですつて。專門家でさへ何うなんですもの、素人が愁くのは當然ですわねえ。」

顏を合せるが早いか、二人の幹事は直とこんなお世辭を浴せかけた。潮の逆卷くやうな喝采のうちに人の心を高調させた自分の技巧が、まだ音樂のやうな快い響をゆりかへさせて、世間の評判になつてゐるかと思ふと、秀子は心からの歡喜にぞくぞくしない譯にはいかなかつた。

「濱田さん、何ぞおごりませうか。富士見軒の洋食、竹葉のお鰻？。香月さん、あなた、なアに？」

これで天晴の大藝術家になりすました彼女は、憐れなるものであつた。

精算して見ると、諸雜費が八百圓からちよつと缺けただけ。少しや過ぎたとは思つたけれども、もと〳〵金といふことに責任のない幹事連は、どうせ秀子さんの道樂だもの、そちら樣の御會計で如何とも遊ばせなと形式だけの報告をして、おいしく御馳走を頂戴して、さいならと歸つて去つた。

秀子には無論是だけの支拂をされる譯がない。つまる所は家から出させるまでのことであつた。家から出させるといふことは、今まで父や嫂子に對して不平で堪らなかつたその面當にもなるのである。今度の假裝會も何うした荒んだ感情が基礎になつて企てられたのだ。それに今は其以上の敵愾心——ともいへば云へる強度の反感が加はつてゐる。懲うして父を苦しめてやるのが、差詰め痛快な復讐手段の一つだと彼女に思はせた。寧ろ企畫がもつと上つて居ればよいにと悔まれるくらゐだつた。

その矢面に立たせられた家扶の鈴木平馬の當惑は一とふりではなかつた。いろ〳〵と苦情をならべて見たけれども、今さら如何することも能きないので、言はれる儘にその支拂を濟まして了つた。若し主人が歸宅してからお叱言が出たらば、是非なく自分が責任を負はなければなるまいと、それまでの覺悟をしてから金庫の錠をあけたのであつた。

その夕景に秀子のところへ何處から電話が懸つて來た。平生の通り先づ孝が取次いで、先方の名を聞いてから秀子を呼びに行つた。

ちやうど電話室の隣が住江の部屋だつた。彼女は先刻から小机に向つて一心に手紙のやうなのを書てゐた。

「もし〳〵。はア、何うです。貴女は……あゝ、何うですか。」

急いだ步調で電話室へ驅込んだ秀子が、受話機を耳にあてゝ話しかけた時に、住江は靜かに筆を停めてそつちを回顧つた。

▲新古書籍販賣●京城本町一▼
月刊雜誌 廻讀會 會員募集 松井松榮堂
▲古本高價買受●電一三七八▼

□大田湖南吟社小集（一）　八月十三日於風骨庵

屋拈こ留守訪ふ葉摺淋し　逸鹿
夕日滴りに動く蟲よ扇置く　同
鬼灯賣る七月の旭の光る屋根　同
兒に植ゑて鬼灯に晴せて濯く妻　同
踊り果てゝ靜に更けし闇の星　同
夜露泌む程踊に空へ漂ふ灯　同

電車入庫の忘扇や女持　可祝
破團扇炊事に下げて獨居哉　同
讀經の鬼灯手向く少女の碑　同
鬼灯に紙の衣や乳姉妹　同
鬼灯や舞妓愛らし紅の口　雅溪
村一番の娘踊るを廻りはづむ　同
祭棚踊りに位牌挨る　同
鬼灯の賣聲商し色の町　同
馬子拾ひ行く掛茶屋の捨扇　精華
うけし句を剃きも納む扇哉　同
鬼灯の色付く頃を戀ひ初む　同
雜草の中に鬼灯目立ちけり　中京

日本一
マルカン印
宮內省御用
最上清酢
電話二四五番
日本醤油株式會社 京城出張所
京城太平通二丁目

南米倉町朝市場通仁濟病院跡
內科 外科 花柳病 入院隨意
上野醫院
電話二九三四番

新刊紹介

▲世間學（村上浪六著） 虛飾を去りたる社會觀也、探膽となせる社會觀也、偽社會自身が自身を語る社會也、而して語る所は何ぞ曰く運命也、結婚也、罪惡也、趣味也、其他總て吾人の平日に於ては新らしからざる問題也。然も本書に於ては新らしき也、之れ浪六の觀察なれば也之れ浪六の筆なれば也（九十五錢東京市日本橋區北鞘町一〇大阪屋）

▲生活（八月號） 編輯振りに大革新を加へてから愈讀者を激増した生活の八月號には特別記事として『淺草觀世音の研究』『犯人を捕へるまで』等いづれも興味に富む（定價二十錢南文館發行）

▲經濟之日本（八月號） 興味と實益、八月の金融觀、殖民地の新利源、決算報告の見方等（二十錢東京麹町區富山町其社）

投書

流るゝの

▲此頃貸家主の横暴著しく甚しきに至つては多くも一箇月分の家賃を支拂ひ置き他に轉宅せんとせば家賃の割戻しをせぬのみかまた人の住んで居るのに貸家札をベタ〳〵貼るなんて言語同斷だ（借家生）▲南米倉町の朝市場へは是非巡査を一人派出して置く必要がある何日も喧嘩口でやかましいのみならず通行人はまご〳〵すると突き飛ばされ殊に彼の混雜の中へ大きな牛車や馬車を遠慮なく曳き込むので危險千萬である（迷惑千萬生）▲南米倉町の和樂園裏入口通りの道路と來たら我等雨が降つて道は破損しても其儘であるから夜中の通行も困難で車などは危險だ見へぬ處だから打ちやつてあるのだらうか（聞きたい生）▲明治町で菓子製造を始めた者がある低き煙突で毎日石炭を焚かれるので煤煙が多く這入りて掃除丈けならよいが器や衣類が汚されるのは誠に困ります（一困難生）▲北米倉町に小供の汚物を用水道栓下に捨てる者があるので困る（水道係）

旭町三丁目十三番地
小兒科 內科 入院隨時
若槻醫院
電話二四六二番
ドクトル メヂチネ 若槻寛隆

肋膜炎を病方に

●水がたまつて苦しむ人
●水がたまらなく苦しむ人

ロクマクエンに永らく病む人は淡汁がたまり液の中に血が交り膿色の液がたまり呼吸をすると胸が痛む咳嗽が出て動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此の病氣を速く治して丈夫になりませんと世の人々の最も恐れて居ります肺病に成り易いのですが未だ此の病氣に良く効く良藥がありませんが東京府大森新井宿の中江藥療苑へハガキにて御照會あれば是迄實地服藥の上最もヨクキク藥の自宅治療問答書を同病に惱む方に無代差上げますから御遠慮なく申越下さい

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

最新最良の模範的 家庭常備藥

吾が家庭藥は、獨乙ベルリン醫科大學教授クラウス博士及び吾が國帝國醫科大學教授醫學博士佐藤三吉先生を始め、東西醫藥學大家三十六大博士の學説を根據とし、東京、京都、九州の三醫科大學及び各府縣立病院の處方製劑録は勿論、熱誠なる學理的研究と、嚴密なる臨牀的實驗とを積み、且つ貴重の犧牲を拂ひ、幾多の研鑽を經て、完成したるもので從來の無效無害の主義に囚れた賣藥とは全く其根底に於て趣を異にし、普通民間に於て一般素人の、法律上絶對に購入する事の出來ない十數種の劇藥を安全なる程度の範圍に於て配劑し、法に鑑み規に照し民間治療藥として最も安全有效に製出せる、最新最良の理想的家庭常備藥である。

下痢の烈しい時、便通の無い時、腹の惡い時、腹痛の起つた時、腹中に蟲が寄生した時、寒冒を引いた時、頭痛、眩暈のする時、熱病に罹つた時、頭や手足の腫れた時、痛み出した時、火傷をした時、怪我をした時、眼病に罹つた時、傳染病の流行時などに、完全なる家庭藥の有ると無いとは、實に一家安危の岐るゝ處です。

疾病の治療は初期に限るので、初期の治療を怠るが爲に、輕症なる氣管枝加答兒の程度に於て治癒し得る感冒をも、肺炎にまで進ませて、驚き狼狽へる例は往々あります。初期の手當の一匙の藥は末期の治療の百匙にも勝るのです。

されば、作用の確實なる効力の一定不變なる、最も信頼し得る吾が家庭藥を常に備へ置かれ、急に應じ得る樣御用意の程を切に御勸め申します

藥價は如何なる家庭にも缺くべからざる、內用藥五種、外用藥三種都合八種一組 壹圓七拾錢の正價を以て諸彥の御要請に應じます 詳細は本月五日の京城日報夕刊を御一覽下さい。

京城南大門外停車場通
ドラッグ商會家庭藥部
電話二五六七番・振替京城四六七番

暑中、中元御見舞には
目がたつ程品のよくなる純生粹葡萄酒
赤玉ポートワインにかぎる

水や氷には是非赤玉を加へて召上れ必ず水あたりの憂なし
今直に召上れ

柏村博士ノ處方
殺菌性 下痢止
ヘルプ

●下痢病は多く、不消化と黴菌作用より起る、故に下痢止藥は●消化と殺菌力の絶大なるヘルプを用ゆるが最も安全也

下痢にヘルプ

▲旅行にヘルプを携帶あれば▲汽車中下痢が起つても▲汽車中腹が痛んでも▲旅宿で食傷した時▲途中で醫者が無つても▲安心して手當が出來ます

旅行にヘルプ

酒界ノ ゼントルマン アラハル

□香氣の馥郁たる事
□風味の醉美なる事
□色澤の鮮麗なる事
紳士
□名聲の如く
□典雅なる如く
□擧止の如し

貴顯紳士の御用料として攝津灘に於て特別醸造したる完全優等の美酒に御座候……

發賣元 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番振替京城二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店（電話四二九番）

花柳病專門藥

本劑は我商會が多年の實驗と最新學理の應用に依り驅梅治淋に最も卓効ある諸種の新藥を主劑とし健胃の良劑を以て合理的に配合調劑したる花柳病患者の服用に最も安全にして治療の目的を達し得る最新良藥なり

梅毒 普通 金壹圓廿錢 特製 金貳圓
淋病 普通 金貳圓 特製 金貳圓五拾錢
●一週間分
●自宅療法 申込あれば無代寄送す

京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會 滿鮮本部
●類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る

花柳病專門 外科
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病 ●痳丸病●肛門病●皮膚病 ●婦人病●神經衰弱 ●六〇六注射 包皮其他手術 入院隨時 ●診察無料 每日
京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も迅速と可成親切を旨とし御高需に應じ候
京城日報社 寫眞製版部

白毛赤毛染 君が代
君が代は染法の新發明にて二十分間に染り毛髮を損する事決してなく一度染むれば永く色艶よく剥る事なし尙新發賣の（別製）は染方一層便利なり一度御試みを願ひます
定價（別製二十八錢）（特製二十五錢）
本舗 東京淺草藏前 山吉商店 電話下谷二八八二 振替口座一元七二
本品ハ全國數ハ盛ノ藥店化粧品店ニアリ

大邱浦項間自動車發着時間
上り 浦項發 安康 永川 河陽 大邱着 一番 二番
下り 大邱發 河陽 永川 安康 浦項着 一番 二番
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

金泉醴泉間自動車發着時間
上り 金泉發 尙州 咸昌 醴泉着 一番 二番
下り 醴泉發 咸昌 尙州 金泉着 一番 二番
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 ○立神丸 月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 ○立山丸 月 日後十時出帆
元山、城津、清津行 ○小倉丸 月 日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天眞丸 毎月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日（午後十時出帆）
釜山本町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第二共同丸 八月十六日後四時入 八月十八日前九時出
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 第一共同丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
仁川本町一丁目 阿波國共同汽船株式會社（電話一〇八番）
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部（電話二四四七番）
京城取次店 河村運送店（電話二六八・二〇七）

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 須磨丸 八月廿六日 安東丸 八月廿一日 天智丸 八月十七日 後五時出帆
×○ 鎮南浦、龍岩浦、安東縣行 濟州丸 八月廿四日 後二時出帆
○×× 木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 八月廿七日 信濃川丸 九月十四日 後二時出帆
○ 鎮南浦、神戶、大阪行 須磨丸 八月十三日 後二時出帆
○×× 鎮南浦、大連行 信濃川丸 八月廿二日 信濃川丸 九月九日 後二時出帆
○ 大連直行 日米丸 八月廿五日 福州丸 九月三日 正午出帆
○×△ 群山、釜山、橫濱行 福州丸 八月十七日 日米丸 九月一日 後二時出帆
▲○ 清津、浦潮行（元山出帆）印ハ城津西湖津ニ寄港 浦潮不寄港 安平丸 八月廿七日 宮島丸 八月十三日 後二時出帆
○▲ 上海、基隆、打狗行（大連出帆） 城津丸 九月一日 基隆丸 八月廿二日 後六時出帆 前四時出帆
御注意 ○印は朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道との連絡切符發賣 ○印は船客無賃送迎可致候
切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

朝鮮郵船仁川出帆
○○○○ 全羅丸 八月三十日 京畿丸 八月二十日 咸鏡丸 八月廿四日 成鏡丸 八月十四日 釜山發
○○○ 錦城丸 八月廿一日 昌平丸 八月十九日 錦城丸 八月十五日 元山發
○○ 忠清丸 八月三十日 平壤丸 八月廿一日 元山發
○永興丸 毎月廿八回 元山發
○全德丸 八月十六日 釜山發
○○ 江陵丸 鎭陽丸 每日
○三浦丸 八月十七日 釜山發
○○ 海州丸 統營丸 毎日 釜山發
○○ 巨濟丸 慶寶丸 每日
○順天丸 三日目每 木浦發
○慶興丸 八月十七日 木浦發
○慶興丸 八月十三日 木浦發
○公州丸 八月十四日 木浦發
○宗信丸 八月十五日 仁川發
○江原丸 八月十六日 仁川發
○○ 麗水丸 晉州丸 八月廿一日 八月十五日 仁川發
○○ 錦江丸 南陽丸 每日午前 仁川發
京城南大門驛前 代理店 松原運送店

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 八月廿三日後四時出帆
○大有丸 八月十七日後四時出帆
○神代丸 八月廿六日後四時出帆
○秀吉丸 八月十二日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部 電話五十九番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相摸丸 九月七日 後八時出帆
高砂丸 八月十六日 正午出帆
三河丸 八月廿七日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 堀回漕部 電話十一番

商況

下關期米特電

▲後場の手振